

みんなで作る みんなのしあわせ

みなべ町地域福祉計画

別冊資料集



平成20年3月
和歌山県みなべ町

目 次

1．地区別人口等一覧	2
2．みなべ町地域福祉計画 地区懇談会まとめ	3
3．みなべ町地域福祉に関するアンケート調査票	3 1
4．みなべ町地域福祉計画に関するアンケート調査集計結果	3 9
5．みなべ町における人口等基礎数値の推移	4 7
6．みなべ町地域福祉ニーズの把握（和歌山大学システム工学部）	5 1

1. 地区別人口等一覧(平成19年4月1日現在)

資料:町民課、健康福祉課、3世代同居率は17年国勢調査

地区名	人口 (人)	世帯数 (世帯)	高齢者 (65歳以上の人口) (人)	一人暮らし 高齢者 (世帯)	高齢者 夫婦世帯 (夫婦のどちらかが65歳以上の世帯も含む) (世帯)	高齢化率 (65歳以上の者の全体に占める割合) (%)	高齢者 世帯率 (一人暮らし、高齢者夫婦世帯の全体に占める割合) (%)	3世代 同居率 (%)	子ども 0～14歳 (14歳以下の人口) (人)	障がい者 手帳所持者 (身体、知的、精神障がい者手帳所持者数) (人)	説明
南部地区	7,033	2,571	1,745	290	570	24.8	33.5	11.6	1,021	372	町人口の約半数を占める人口密集地域。3世代同居率はかなり低く、核家族化が進んでいる。一人暮らし高齢者世帯、高齢者夫婦世帯が多い。
岩代地区	1,104	295	258	14	35	23.4	16.6	39.9	159	45	農業地域。3世代同居率は一番高い。
上南部地区	4,248	1,111	1,011	61	149	23.8	18.9	39.1	680	163	農業地域。町人口の約3割を占める。高齢化率はやや低い。3世代同居率は高い。
高城地区	1,420	443	472	43	69	33.2	25.3	32.7	204	66	山間地域 老人ホームがあるため高齢化率は一番高くなっている。
清川地区	908	240	232	26	48	25.6	30.8	37.0	163	44	山間地域 人口が一番少ない。 高齢者世帯率、3世代同居率ともに高い。子どもの割合も高い。
合計	14,713	4,660	3,718	434	871	25.3	28.0	23.1	2,227	690	

2. みなべ町地域福祉計画 地区懇談会まとめ

地区懇談会実施年月：平成19年10月（町内8ヶ所で開催）

項目

1. 子ども
 - 1 - 1. 少子化
 - 1 - 2. 子育て支援
 - 1 - 3. 子どもの安全対策
 - 1 - 4. 子育てについて
 - 1 - 5. 子どもその他

2. 高齢者
 - 2 - 1. 高齢化社会
 - 2 - 2. 一人暮らし高齢者
 - 2 - 3. 認知症
 - 2 - 4. 老人ホーム等
 - 2 - 5. ショートステイ・デイサービス・ホームヘルプサービス
 - 2 - 6. 生きがいづくり
 - 2 - 7. 交流の場
 - 2 - 8. 健康づくり
 - 2 - 9. 介護予防
 - 2 - 10. 介護者支援
 - 2 - 11. 移動支援
 - 2 - 12. 交通安全
 - 2 - 13. 高齢者その他

3. 障がい者
 - 3 - 1. 生活支援
 - 3 - 2. バリアフリー
 - 3 - 3. 就業と障がい者福祉事業所
 - 3 - 4. 早期療育
 - 3 - 5. 障がい及び障がい者の理解の促進、交流
 - 3 - 6. 障がい者その他

4．地域や生活

- 4 - 1．近所づきあい
- 4 - 2．地域づくり
- 4 - 3．健康づくり
- 4 - 4．若者の定着
- 4 - 5．経済問題
- 4 - 6．結婚について
- 4 - 7．交通問題、安全対策
- 4 - 8．防犯
- 4 - 9．災害時の対応
- 4 - 10．環境問題
- 4 - 11．地域生活その他

5．その他

説明

19年10月に町内8ヶ所で開催した地域福祉地区懇談会で出た意見を、子ども、高齢者、障がい者、地域や生活の大きな分野に分け、更にそれぞれを細かい分野毎にまとめました。

なお、各課題、対策の後に記入している(南、岩、上、高、清)の記号は、南部地区、岩代地区、上南部地区、高城地区、清川地区の略で、その地区の懇談会で出た意見という意味です。また対策は懇談会で出た意見で、町として決めた対策ではありませんので念のため申し添えます。

注)「対策」は懇談会で出た意見で、町として決めた対策ではありません。

1. 子ども

1-1. 少子化

課題：子どもが少ない。独身が多い。(南、岩、上、高、清)

課題：子どもが少ない。(男女の出会いの場がない。結婚する人が少ない。子どもが少ない。)(高)

課題：子どもが少ない。若者同士が交流するような世話人が居ない。(上)

対策：結婚相談所を開設する。(南)

対策：行政が積極的に交流の企画をする。(上)

対策：青年団活動を活発にする。(南)

対策：集団見合い、昔は出雲会などがあったが...(高)

課題：子どもが少ない。若者の働く職場が少ない。(高)

対策：地域産業の振興と企業誘致で若者の職場を確保。(清)

対策：アパートやマンションが少なく、若い世代用の町営住宅を増やす。(新婚対策として)(上、高)

1-2. 子育て支援

課題：子育てにかかる費用が高つく。(南、上、高、清)

課題：保育料を少しでも安くしてほしい。(高)

対策：子育てにかかる費用を助成または軽減する。(南)

対策：南部川村にあった制度(子ども3人目30万、4人目80万円)を復活できないか。(上)

対策：20年度から3人目以上の3歳までの保育料が無料になりました。

課題：小さな子どもがいても働ける職場がほしい。(清)

対策：夜間保育など若い夫婦が安心して働ける条件整備をする。(南、上、高)

対策：働いているお母さんが多いので学童保育所を整備する。(岩、上)

課題：子どもの数が少なくなっている理由の1つとして妊娠すると医療費が高つくこと。(上)

対策：19年度から3人目の子どもの妊婦検診が無料になった。不妊治療にも一定の補助が出る。(上)

課題：南部中学校も給食にしてほしい。(岩)

課題：岩代でも南部地区や上南部地区で実施している未就園児が親子で楽しめる場がほしい。(岩)

対策：岩代公民館に小さい子を持つ親と子どもがくつろげるスペースをつくれぬか。(岩)

課題：若い人の子育て力の低下。(南)

核家族により、相談する相手もなく、子育てに余裕がなく、精神的に追いつめられている。(南)

課題：新米ママさんの子育て支援が必要。(岩)

対策：子育ての相談や、買い物に出る間、シルバー子育てサロンを利用する。(南、上)

対策：地域ぐるみで子育てをする。(南)

対策：支援が必要な母親を見つけたら民生委員に連絡をする。(南)

課題：子どもの遊び場所が少ない。(南、岩、上、高、清)

対策：公園の用地確保を町でしてくれれば、維持管理は地域でできる。(上)

対策：近々新庄に公園が出来ます。(上)

対策：岩代に災害避難所を兼ねた公園が出来ます。(岩)

1 - 3 . 子どもの安全対策

課題：子どもの安全確保をどうするか。(南)

対策：町民みんなで見守りをしていれば誘拐犯も手出しはしにくいと思う。(南)

課題：市街地には、子どもの安全な遊び場がない。車は多く、反面見守る者が少なく危険。(南)

対策：図書館は大きな役割を果たしていると思う。(南)

課題：通学路の安全確保。集団登校しない。何かあったとき心配。(南)

課題：埴田地区の児童が通学路で大きなトラックとすれ違うのをよく見る。(南)

対策：通学路で危険なところやさびしいところを見守る。(南)

対策：集団登下校をする。(南)

対策：通学路の見直し。(南)

対策：元気で手の空いている高齢者に見守りの協力をお願いする。(南)

対策：通学時間帯を一方通行にする。(南)

課題：街灯が少ない。防犯面での不安。(岩、上)

対策：区の役員に連絡して街灯を増やす。(岩、上)

課題：小学校から遠くの子どもは自転車で通学しているが暗くなると危ない。(清)

課題：通学路をもっと明るくしてほしい。とくに冬場は日が短く、すぐ暗くなるので危険。(高、清)

対策：街灯については通学路から優先にしている。(清)

対策：通学バスが必要になってくるのでは。(清)

対策：通学路の整備。道路の側溝、白線の明確化。白線があるのとないのでは、全然違う。(清)

課題：青少年育成町民会議やボランティアの方が子どもの見守りをちゃんとしてくれているか。(清)

下校時に役場の人パトロールに来ているが、山の奥のほうまで入らず帰ってしまう。(清)

課題：山道を通学するので防犯対策をしっかりしてほしい。(上、清)

対策：時間帯や見守る場所の検討。(清)

対策：地域の子どもへの声かけをする。(清)

対策：通学路の安全については、父兄が順番に見守りしている。(清)

対策：下校時間帯は、外で仕事をしている人は通学児の安全に心がけるようにする。(清)

対策：地域で帰る時間の申し合わせをする。(上)

対策：きしゅう君の家の周知。(高)

対策：暇なお年寄りに夕方、道に座ってもらって「おかえり」と声をかける。交流にもなる。(上)

1 - 4 . 子育てについて

課題：子どもたちの挨拶がない。(子供に挨拶をしてもかえってこない)(南、上、高)

地域のつながりの第一歩は”あいさつ”から。

対策：子どもに大人から「あいさつ」をしつづける。必ず返ってくる。(南、上、高)

子どもは不審者のこともあるので警戒している。不審者にも挨拶すれば逃げるかも?(上)

対策：まずは「家庭」から。子どもは親をよく見ている。親がやらないと子どもはやらない。(上)

課題：大人と子どもの交流がない。(上、高)

対策：まず大人から進んで声をかけて心の交流をはかる。(上、高)

課題：こどものしつけが十分でない。子どものマナー意識が低い。(上)

対策：家庭の教育力。(上)

対策：学校(先生)がすすんで挨拶やマナーへの支援体制。(上、高)

対策：親自身からすすんで、おはよう、こんにちは、おやすみ等を実行し子どもに見せる。(上)

親自身の意識を変える。親が真剣に取り組むべき。しつけへの不安。人としての基本。(上)

不審者が増えているので、知らない人に近づくなという教育がなされているのも事実。(上)

課題：教育環境の向上。(清)

対策：学校の放課後に1時間でもフリーの教室を設けてもらう。(清)

課題：少子化で団体生活になじみにくい子どもが多いのでは。(高)

対策：意図的に団体、合宿生活を計画する(学校、地域、公民館)(高)

課題：家での子どもとの挨拶や、やりとりが少ない。(高)

対策：なるべく家庭で子どもと話し合う。じいちゃんばあちゃんと一緒に暮らしたいものです。(高)

対策：核家族でも子どもがおばあさんのところに行って昔話でも聞くようにする。(高)

課題：子どもが少ないため遊びが偏る。(室内での遊びに偏ってしまい、外での遊びが少ない。)(清)

子供は室内で遊ぶことが多くなり、山や川など外で大人数で遊ぶことが少なくなってきた。(清)

対策：小さいときから親が外で遊ぶ面白さを伝える。(清)

対策：地域イベントを行なう。近所に住む高齢者と交流。(清)

課題：不登校の子どもが多いのでは。(上)

対策：学校、教委、民生委員が連絡を取り合って、メンタルハウスで支援をしている。(上)

1 - 5 . 子どもその他

課題：南高のクラス数を減らして欲しい。生徒の質の方が大事。(上)

1年30人入学。卒業するのが15人ぐらい。クラス数を減らしたほうが良いのでは？

対策：県知事に請願する。(上)(20年度から7クラスから6クラスになっています。)

課題：駅での高校生のマナーの悪さ。親のモラルの低下。(上)

地元の子は田辺の高校へ行ってしまふ。(上)

南部高校は地元の子より遠くから来ている子の方が多く、電車通学が多い。(上)

町外から来ている生徒は知っている人が少ないため、マナーの悪さに繋がっていると思う。(上)

対策：南高を考える会を活発にする。(上)

2 . 高齢者

2 - 1 . 高齢化社会

課題：老人家庭が多くなっている。(南、清)

課題：若い人の地域での職種が限られており、大学を出ても田舎に帰れない。特に商業地域での老人化が進んでいる。(南)

課題：息子がいても、働くところがなく、町外に出ていて、高齢者だけの世帯が多い。(高)

課題：一人暮らし老人に認知症が出てくる。子供が帰ってこようにも働く場がない。(清)

対策：企業誘致して若者の定着を図る。企業誘致はみなべ町だけでは難しい。(南)

対策：地域に小規模多機能があれば馴染みの友達と助け合っていける。(ただ費用が高いと...)。(南)

課題：高齢者の一人の時間帯の火元が心配。(高)

課題：夜は家族がいるが、昼間は高齢者一人になるとさみしい。(高)

対策：シルバー人材センターによる働く場の提供(高齢者の生きがいとして)(高)

対策：高齢者に出会ったときには声をかける。隣近所の方が気にかけてあげる。(南、高)

課題：同居では若い人に遠慮する。(上)

課題：同居でも、食事は別々にしている。(上)

課題：同居でも、子どもと高齢者の食事をとる時間がちがう。(上)

2 - 2 . 一人暮らし高齢者

課題：一人暮らしの世帯が多い。安否確認をどうするか。(南、岩、上、高)

課題：一人暮らしの方のお世話をする方法。中に入り方が難しい。(南)

課題：お年寄りの買い物等。高齢者の買い物を手伝いたいが、気を使われてしまう。(南)

課題：一人暮らし老人の声かけに行きたいが、迷惑がられたらと思うと行けない。(岩)

課題：一人暮らしのため、将来病気になった時に生活できるか心配。(上)

対策：近所づきあいができていたら、声もかけあえるのでは。(南)

対策：5~6世帯が1つの単位になって、1日1回声を掛けあう。顔見知りになるまで寄っていく。(南)

対策：田舎ならではの声の掛け合いを推進する。息子達も定期的に連絡をとるように。(高)

対策：隣り近所で声かけ。民生委員だけに任せない。(南)

対策：高齢者宅におかずを届ける。(南)

対策：社協の給食を届けたときに安否確認している。(南)

対策：新聞、郵便、宅配、の業者さんの協力で、配達物がたまっていたら通報してもらう。(上、清)

課題：一人暮らし高齢者の行き先がわからないときがある。(上)

対策：隣近所で高齢者の方の行動範囲(どこによく行くか、入院したとか)を把握しておく。(上)

対策：近所の人声かけや見守り。気軽に声を掛けあえる関係づくり。(岩、上、高)

対策：一人暮らし高齢者からも隣近所に遠慮せずに声かけをしてほしい。(上)

課題：一人暮らしの人が急に病気になったときに、人に知らせるには。(南)

課題：自分は一人暮らしなので夜中に病気になったときが不安。(上)

課題：一人暮らし高齢者の、緊急の連絡がうまくいっていない。(高)

対策：班ごとにその家の状況を把握し、様子を見に行ったり出来るようにしておきたい。(南)

対策：地区の民生委員さんに相談して欲しい。事前に連絡先を聞いておく。(南、岩)

対策：緊急通報装置(通報センターに連絡が入り、協力員が様子を見に行く。)を設置する。(南、上)

対策：近所の人定期的に伺う。息子達も定期的に連絡をとる。(上)

課題：一人暮らしの高齢者で耳の遠い人、チャイムを押してもわからない。(南)

対策：障がい者については光で知らせるチャイムがある。(南)

課題：一人暮らしの人が話せる場を設けてあげたい。(南)

課題：一人暮らしの高齢者は夜寝るまでの時間がさびしくなる。(高)

対策：集まる場所が必要。集まって話をしたりする場があるとつながりができる。(高)

対策：高齢者交流の場として小規模多機能も検討。(高)

対策：一人暮らしの方への訪問。たとえば子供が訪問する、一緒に遊ぶ。(高)

課題：一人暮らしのお年寄りにはガスコンロから電磁調理器にしてほしいです。(清)

対策：補助制度を利用できないか要望する。(清)

課題：一人暮らしの高齢者の情報が欲しい。(清)

地図などがあれば。一覧表などはある。災害のときは必要になるはず。

課題：プライバシーの問題があり、簡単に情報提供は無理ではないか。(清)

悪用されたら困る。お年寄りが被害者になる。

2 - 3 . 認知症

課題：認知症になった場合、大勢の方々に知ってもらえるような地域づくり。(南)

対策：認知症のおじいちゃん。近所のみなさんに理解してもらって、声かけてもらうようにしている。(南)

課題：家族で認知症が出たらまずどのように対応すればよいか。(高)

対策：専門機関(医師、保健師)へ相談する。ヘルパー等の支援をうける。(高)

課題：一人暮らしの高齢者が認知症になった場合、どうしようもない。(南、清)

課題：認知症の高齢者など少し援助が要る高齢者が過ごす場所がほしい。(岩)

課題：閉じこもり 寝たきりや認知症に。(清)

課題：認知症の方の介護を考える必要有り。(上、清)

対策：グループホームがあればいいのでは。(南)

対策：小規模多機能施設等、身近で集える場所がほしい。(上)

対策：集落センターの活用。ショートステイや昼間少し預けるなど、多様なニーズに答えられるようにする。(岩)

対策：いつでも気楽に寄れるような場所があれば良いと思う。(清)

いつでも寄れる場所があればよいが、誰がお世話してくれるの？(介護事業者などがする。)(清)

2 - 4 . 老人ホーム等

課題：老人ホームは高くて入れない。(南)

対策：利用料が安い宅老所(個人で設置)ができないか。(南)

課題：高年齢の方が多く。介護施設が少ない。(南)

課題：町中に小さな介護施設が欲しい。高齢者は在宅で暮らしたいと思っているのでは。(南)

対策：千鹿浦区には空き地が多いので高齢者用住居をつくってほしい。(南)

対策：特養よりも小規模多機能の方がニーズにあっていると思う。大きな施設よりはずっといいと思う。(南)

課題：小規模多機能などは、人と合わせて暮らしていける人はいいが、一人を好む人もいる。(南)

課題：岩代に老人ホームがほしい。(岩)

対策：祖母に十分な介護ができずに困っている。老人ホームが近くにあればと思う。(岩、上)

対策：ちいさな施設、スライドで見た様な施設があれば、人と人との交流もできると思う。(岩)

対策：小規模多機能施設などで地域の人にみてもらえるなら安心だ。(岩)

対策：グループホームのように高齢者同士で助け合って生活していきたい。(岩)

対策：親の介護は子どもがするものだと思うが、息抜きも必要なので小規模多機能があれば良い。(岩)

対策：若い者に頼れない。高齢者同士で集まって暮らす(グループホームなど)ほうがよい。(岩)

課題：小規模多機能施設の設置(空き家の活用、清川で一箇所欲しい)(清)

課題：小規模多機能について、近くにあったら良いと思うが、経営(運営)が難しいのでは？(清)

みんな住み慣れた所で暮らしたいという思いが強い。

住み慣れた町から出たくない。一生暮らせば良い。隣近所仲良く。

課題：老人ホームへの入所待ちが多く、簡単に入れない。(上、高)

課題：入院して治る見込みがないと3ヶ月で退院させられる。その後見てくれるところがない。(上)

対策：施設の数を増やす。どこの施設も満員なのでヘルパーさんをお願いするしかない。(上)

対策：老人ホームに希望者全員入れるように。老人ホームが無理なら、小規模多機能をつくる。(上)

対策：老人ホームから退所(元気)できる人には在宅で生活してもらう。(高)

対策：まず今ある居宅サービスを最大限活用できるようにサービスの広報を徹底する。(清)

課題：老人ホームに面会に行きにくい。受付があったりするなど敷居が高い気がする。(岩)

対策：老人ホームにもっと開放的になるよう努力してもらう。(岩)

課題：離れた場所の特養に入ったら、もし施設で何かあったら心配だ。(岩)

課題：施設に入ると家族は足が遠のく。自分は入りたくない。(岩)

対策：岩代地域は、高齢者は子どもが介護するのが当たり前と思っている。(60代)(岩)

対策：自分が親を見てきたから自分も見てもらおうのが当たり前と思っているのはおかしい。(40代)(岩)

2 - 5 . ショートステイ・デイサービス・ホームヘルプサービス

課題：若い者が急に用事ができたときに昼も夜も預かってくれる所が欲しい。(ショートステイ)(南、岩)

対策：今のところ老人ホームで対応するしかないが、いつも空いているとは限らない。(南)

対策：元気な若年高齢者などがボランティアで見えあげる。(南)

対策：地域の中で小さい規模で見えあげられる場所をつくる。(南)

課題：保健センターのデイサービス利用料が前より上がった。(高)

利用時間が延びたため1日200円程度上がりました。

対策：国の施策、県、町の施策に頼るしかないが、人に優しい政策を願う。(高)

週に1回位ゆうゆう館に行っているのを見ると楽しそうにしている。(南)

課題：ヘルパーさんが週2日来てくれるが、それ以外の日でもサービスが受けられないのか。(上)

対策：介護ランクによって利用の上限があります。上限を超えれば費用全額負担になります。(上)

課題：夜間介護が必要では。(南)

対策：夜10時くらいまでならヘルプサービスをしてくれる事業所があります。(南)

2 - 6 . 生きがいづくり

課題：高齢者同士が作物づくりをしたりと楽しみを持たせてあげてほしい。(南)

対策：高齢者が畑仕事を通じて交流できるようシルバー生きがい農園ができています。(南)

課題：核家族化が進み、高齢者が楽しみ働く場所が少ない。(岩)

対策：高齢者にシルバー人材センターを紹介する。(岩)

課題：核家族化が進んでいるので子どもにお年寄りの知恵を教えたい。(南)

対策：高齢者と子どもとの交流事業を社協で実施中。(南)

課題：高齢者の生きがい、役割がない。(上)

課題：孫に関わりが持ちにくい。(上)

昔は保育所の送り迎えは祖父母がしていたが、今は両親がして、祖父母の仕事(役割)がない。(上)

対策：高齢者の生きがいの場をつくる。(上)

対策：お年寄りの生きがい 子どもと会話すること 子どもとの交流(上)

課題：長寿クラブの活動が停止状態になっている地域がある。(南)

課題：ゲートボール人口の減少。(岩)

2 - 7 . 交流の場

課題：高齢者が気軽に集まれる場が欲しい。(南、岩、上、高、清)

課題：高齢者がお茶を飲みながら、お話できるところがあれば、楽しさも増すのでは。(南)

課題：気軽に寄れる場所が欲しい。お茶を飲んだりしゃべったりできるところ。(岩)

ある高齢者の家が集まる場になっている。家族に迷惑ではないか?(高)

対策：各地域(顔見知り)で身近に集まれる場所(空き家など)を確保する。(南)

対策：誰もがいつでも気軽に寄って、喫茶や話等のできるサロンのような場所をつくる。(南)

対策：ふれあいセンターの喫茶は、いい交流の場になっている。みんなの顔を見るために寄って来る。遠くからでも来る。1日居たりする。(南)

対策：はあと館の「あいあいルーム」は、若い親子と高齢者の憩いの場になっている。(南)

対策：徒歩で行ける場所。空き家を利用する。建物がなくても椅子だけ置いておく。(南)

対策：各自治区の集会場や空き家を利用したらよい。(南、高)

対策：地域の集会所を世代間交流の場に。いつも開放してほしい。(誰が開け閉めするの?)(南)

対策：集会所や公民館を利用して声をかけてくれる人があれば良い。(岩)

課題：上南部のふれ愛センターは年寄りか集まってお茶が飲める場所がある。岩代にも気軽に寄れる場所がほしい。(岩)

対策：空いたスペース(空き家等)を使う。(岩)

対策：駅舎を集う場所に。朝来駅は訪問介護ステーションになっている。(岩)

課題：家と家が遠いので、老人同士の交流ができにくい。足が悪いので行けない。(清)

対策：字で集まれる場所をつくる。(清)

対策：小規模多機能みたいなものがあれば良い。(清)

課題：集える場所があっても遠くの人には自分で行けないので参加できない。(上)

課題：集会所、公民館は、目的が決まっているところがあって、使いにくい...(上)

対策：倉庫などを活用する。地区の会場は利用しにくい。(上)

対策：集会所に管理人を置く。(ボランティアでは無理) 世話をしてくれる人が必要。(上)

課題：ふれ愛センターは常時行っている人ばかりで、初めての人は行きにくい。(上)

課題：老人が集まって来る中で、気の弱い人などとけ込めない人が出てくる。(上)

対策：仲間として声のかけあいをしよう！気の弱い人も利用しやすい配慮を。(上)

対策：施設の利用はうまくリーダーシップをとる人が必要。(上)

対策：施設の小規模化。歩いていける距離に集えることが良い。(上)

晩稲地区は介護予防センターがあるので近所の人が集えるので良い。(上)

2 - 8 . 健康づくり

課題：高齢者のガンや脳梗塞が多い。(高)

対策：保健師にがんばってもらって、みんなで生活習慣を考えていく。(高)

課題：高齢になってからの生活。病気になったら...(高)

対策：病気にならない工夫をする。早めに検診を受ける。仕事で体力保持。(高)

2 - 9 . 介護予防

課題：高齢者の人を出来るだけ外に出す。(上)

対策：高齢者は外へ車で出るだけでも喜ぶのでドライブしたり、お花見したり行楽へ連れて行ってあげたりしてはどうか。(上)

課題：寝たきりにならないために老人にあった運動をすすめる。筋力トレーニングなど。(上)

対策：高齢者が病気や要介護にならないように介護予防に力を入れる。(上)

対策：足、腰を鍛えてもらって元気な一生を送って欲しい。週一回ぐらいの運動。(上)

対策：各地区へ指導員を派遣すれば良いと思う。(保健師による介護予防事業実施中)(上)

2 - 10 . 介護者支援

課題：寝たきりの介護はやはりつらい。(岩)

課題：認知症の介護は大変なので、ストレスがたまらないいい方法はないか。(岩)

課題：高齢の親を持った家族の悩み。精神的に落ちた時のケアが欲しい。(高、清)

対策：高齢者を世話している人にストレス発散の場を。(高、清)

対策：介護者同士で話す場を行政もまじえてする。(高)

課題：同居の家庭は、家族介護でがんばっている。(清)

対策：年寄りを家で見るのが本人にとっても幸せだが、介護には負担がかかる。家族介護してい

る家に手当てや補助があっても良いのではないか。(清)

2 - 11 . 移動支援

課題：高齢者は通院、買い物で困っている。(高、清)

対策：デマンドタクシーを利用。障がい者は社協の通院支援サービスを利用。(清)

課題：高齢になるとデマンドタクシーの電話予約が難しい。(岩、清)

課題：デマンドタクシーで田辺まで行けるようにしてほしい。(清)

課題：デマンドタクシーの時間が不満、もっと回数を増やして欲しい。(清)

課題：デマンドタクシーを当日申し込んでも利用できるようにしてほしい。(岩)

課題：デマンドタクシーをもっと家の近くに来て欲しい。臨機応変に対応してほしい。(岩)

課題：デマンドタクシーを知らない人が多い。(上)

対策：周知の仕方を考える。地区の若い世代が教えてあげる。(上)

2 - 12 . 交通安全

課題：車、単車を運転する高齢者が多い。事故が心配。(岩、上、高)

車は大切な移動手段。なくなると生活できない。(岩)

免許証を取りあげる、90歳代ではあぶない。事故をしそう。(高)

対策：高齢者向けの交通安全教室を開催する。警察で実施してくれます。(上)

対策：家族も管理をきちんとする(無理に乗らないように気をつける)(高)

対策：運転を減らす。家族の注意も必要。(高)

対策：デマンドタクシーの利用を普及。回数券を配る。(高)

2 - 1 3 . 高齢者その他

課題：敬老福祉大会の会場が狭い。(南)

対策：対象年齢を引き上げてはどうか。(南)

課題：高齢者は町の情報を知らない事が多い。(南)

課題：高齢者にも理解しやすい福祉サービスの情報提供が必要。(岩)

対策：地区ごとに相談者を設定する。「 の相談は へ」といった情報を流す。(南)

対策：デイサービスに来ない高齢者には直接伝える。(岩)

対策：とにかく広報の徹底。(南)

対策：広報はあまり見ていない人が多い。他の(情報伝達)手段を考えるべき。(岩)

課題：町中に店が少なくなり、不便になった。(南)

課題：高齢者の外出を支援するボランティアづくり。(南)

課題：年代の片寄り。これから15年~20年ぐらいは特別な手立てが必要。(南)

みなべ町は朗読や録音広報、給食等よくボランティア活動ができているのでは。(南)

高齢者のための施設があっても使用しない。施設はあるが作って欲しいという意見がある。(南)

課題：介護保険の仕組みがわかりにくい。(高)

対策：わかりやすい広報に努めているのですが。分からないことは役場、社協へお電話を。(高)

課題：一人暮らし高齢者の中には福祉サービスを利用せず、無理している。サービスの周知が必要。(南)

対策：行政のほうから声をかけてもらう。役場の地域包括支援センターに連絡下さい。(南)

課題：がんこで他人の言うことを全然聞き入れてくれない。(南)

対策：話し相手になる。高齢者も素直になること。(南)

課題：高齢化の進行、若い人の負担増。(上)

課題：あと10年したら高齢者はもっと増える。今から対策すべき。(上)

3. 障がい者

3-1. 生活支援

課題：障がい者の情報が少ない。助けを求めている障がい者はいると思う。(岩)

課題：近所に障がい者がいるが支援をどうすればいいのか。(南)

対策：役場へ連絡。その情報をもとに適切なサービスへつないでいく。(南)

対策：障がい者が地域に溶け込んでいけるような地域づくり、体制づくりを。(南)

課題：障がい者のグループホームを増やしてほしい。親が世話できなくなったとき、見てくれる所が欲しい。(南)

対策：行政に対して要望していく。(障がい者プランでは増やしていく計画になっています。)(南)

対策：町内で空き家になっている家を安価で借り上げて、各字に小規模グループホームを作っていたら。(高齢者、小児、障がい者用)(南)

課題：親が年をとって、世話ができなくなったときどうするか。(高)

対策：在宅でヘルパーなどの支援を受けるか。グループホーム、施設への入所を考えていく。(高)

対策：地域として近所として気にかけるようにする。(高)

課題：体が不自由になった方を、どこまで支えてあげられるか。(高)

課題：障がい者の親が高齢になってきている。(高)

課題：親が亡くなったときのための自立支援を。障がい者の立場に立ってどうすることが良いのか。(高)

対策：障がい者の立場になって、わが身も障がいになった場合を考えて支援する。(高)

支援策：施設に行って世話になる。(高)

支援策：地域では連携をとり合い、居宅サービスを利用して生活する。(高)

支援策：やはり地域で助け合うことが一番でしょう。(高)

課題：精神障がいになっても周りが支える地域づくりが必要。(南)

対策：知的、身体障がいより多いと言われており、「助けて」と声をかけやすい地域環境。受け皿づくり。(南)

対策：声かけを忘れない様にする。(南)

声かけをしたいが、障がいについての理解が充分でないため、ためらってしまう。(南)

課題：障がい者が数人集まって楽しめるようなところが欲しい。(清)

課題：高齢者や子供、障がい者が一つの小規模な施設に集まって生活ができたらよい。(清)

課題：地元でずっと暮らしたい思いを実現できる施設が欲しい。(清)

対策：小規模多機能のようなものを作れないか。(清)

課題：近くでリハビリのできる場所が欲しい。(清)

対策：リハビリ器具の貸し出しをする。障がい者の家に1つでもいいから必要なものを設置する。(清)

課題：人の援助を受け入れる人、受け入れない人がいる。(上)

援助を「親切」と捉える人と「余計なお世話だ」と感じる人がいる。(上)

対策：理解を得る努力。人間関係が蓄積された人同士なら、善意を悪く思わない。(上)

課題：近所の人引きこもっていて、親に言っても放っておいてと言われるのでどうしようもない。(上)

対策：地域としてどのように関わっていったら良いか。行政、役場へ相談する。(上)

課題：施設から在宅、地域へ帰りたい人の受け入れはできるだろうか。(上)

対策：施設から地域へ！！施設が地域と関わりをもつべき。(上)

対策：グループホームなどを利用しながら地域で暮らす。(上)

課題：障がい者の方がゴミ出しができなくて困ったことがあった。(上)

対策：地域で声かけして助け合う。(上)

課題：トイレなど改修する時、補助制度などがわからない！(上)

対策：低所得の障がい者には補助制度あります。介護保険制度では18万までの補助あります。(上)

課題：障がい者の通院の問題。市街地まで遠い。(清)

対策：デマンドタクシーを有効活用する。(清)

対策：緊急の場合は隣近所へ頼めるような体制づくり。(清)

対策：重度障がい者には通院支援サービスがあります。(清)

課題：コミバスの範囲をもっと奥まで(細かく)来てほしい。(上)

対策：町にルートを細かくするよう要望する。(上)

3 - 2 . バリアフリー

課題：駅での乗り降り、ホームとの間、段差、車椅子の方が困る状況。(南、岩、清)

課題：駅のホーム田辺方面へ行く場合不便。(南)

対策：岩代駅はホームを改修済。南部駅は階段昇降機を設置予定。(南、岩)

対策：バリアフリーの充実。(ハードはもとより心も)(南)

課題：王子神社前から高校前までの駐車が多い。中には歩道に乗り上げて通行を妨げている。障がい者の人に非常に危険を感じる。歩道に車を止めるのをやめて欲しい。(南)

課題：歩道に車や自転車置かれると視覚障がい者は通りにくいので置かないように。(南)

対策：地域で意識作り。(南)

対策：警察に取り締まりをしてもらう。(南)

対策：車の駐車場の整備をする。(南)

課題：駅前どおりの歩道は、段差があるので、足の悪い方がつまずいている。(南)

課題：車椅子の体験会の機会を設ける。図書館や駅前のマーカーに平気で自転車を置く学生が多い。(南)

対策：マナー向上を学校、広報で啓発する。(南)

対策：車椅子体験会を開催する。(南)

課題：施設のバリアフリー化がされていないところがある。(南)

課題：集会場、学校などのバリアフリー化。障がい者、高齢者にも必要。(南)

課題：町営住宅のバリアフリー化。(南)

対策：近年建設の町営住宅はバリアフリーになっています。(南)

課題：オストメイトなどの対応が全然出来ていない。(上)

対策：役場第一庁舎にもうすぐつける予定です。(上)

3 - 3 . 就業と就労支援事業所

課題：障がい者が働ける場所がない。(南、岩、上、高)

課題：安定した仕事が見つからない。(清)

課題：他の従業員と共に働けるよう企業がもっと努力して欲しい。(岩)

対策：作業所等を通じて自分に合った職場を見つける。(高)

対策：すまいるが一般事業所への就労促進を積極的におこなっている。(南、岩、上、高、清)

対策：商工会等で事業所をお願いしてもらう。施設から事業所には言いにくい。(南)

対策：高齢者と障がい者が共に働く場をつくる。(南)

対策：梅づくりなど。高齢者のボランティアの協力を得てできないか。(南)

課題：障がい者で一人暮らしの人が働きに来てくれているが、今後の雇用で悩んでいる。(上)

対策：役所または授産施設(就労支援事業所)に相談する。(上)

課題：なかよし作業所の内容がよくわからない。利用方法、作業所内の様子など。(南)

対策：気軽に訪問してもらえようにする。(南)

課題：作業所に行くのに自己負担のいるのが負担になる。(上)

対策：障がい者自立支援法が平成15年に出来てから順次見直しがされてきています。(上)

3 - 4 . 早期療育

課題：早期療育。親が早く認めてくれなければ取り組みにくい。(南)

課題：障がいをもって生まれて、それを抱え込む、親が認めない。(南)

対策：早期療育の確立。(南)

3 - 5 . 障がい及び障がい者の理解の促進、交流

課題：障がい者についての認識を高める。障がいの程度など知らないので知る機会が欲しい。(南)

課題：障がい者との交流が必要。(理解促進)(南)

対策：施設との交流をする。(訪問、ボランティア) スポーツ大会のボランティア。(南)

対策：精神障がい者のグループホーム等で手助けをする。(南)

対策：グループホームへ町民が訪問しやすいようにする。(南)

課題：障がい者とのコミュニケーションがとりにくい。(地域で)コミュニケーションをとる機会が少ない。コミュニケーションをはかれる場を設けて欲しい。(上)

対策：地域住民で主体的にやっていく。行政に任せきりではなく。区の小さいところで意見交換しあう。小さいところから大きい集会へと広げていく。(上)

課題：心のケアも必要。保健福祉センターなどに任せてしまっているところがある。(上)

3 - 6 . 障がい者その他

課題：相談場所がわかりにくいし、行きにくい。(南)

課題：町の福祉サービスの内容がよくわからない。(上)

対策：役場保健福祉課または民間の相談支援事業所へ電話下さい。(上)

4. 地域や生活

4-1. 近所づきあい

課題：地域内での日常のふれあいが少ない。(南、上)

課題：子ども会や婦人会もなくなりつつある。(南)

課題：地域の人と顔を会わす機会がない。地域の行事に声をかけても参加が少ない。(南)

課題：朝家を出て、帰るのが夜という家庭が多いのでは。(南)

課題：地域の関係が薄くなって、子どもの顔を見ても誰の子か、どの家の子かわからない。(南)

課題：核家族化が進む中、地域的な深まりが出来るような取り組みが一層大切。(南)

対策：顔見知りになれるような機会をつくる。(南)

対策：それぞれの地域で元気な高齢者と支援の必要な方の実態を知ろう。(防災でも必要)(南)

対策：地域の大人と遊ぼう企画。地域の婦人活動、防災クラブの活用。(南)

対策：気軽に集える場所をつくる。(南)

対策：行政、JAなど、いろんな力を結集してみんながいきいきできることを考えていく。(南)

対策：趣味の会の交流を活発にする。(南)

課題：埴田は別荘が多いので隣近所の付き合いのない家が多く大変。(南)

対策：奇想天外かもしれませんが、ラジオか有線で地域を繋いで、地元の人がパーソナリティをして、例えばイベント情報や釣り情報、交通情報を流しては？(南)

課題：若い奥様方の地域への参加が無くなって来た。地域の協力が無い。(南)

対策：お助けグループを各字につくる。例)虹の会(南道)、お助けマン(新町)(南)

課題：昔は手伝ったり、訪問できたことがむずかしくなっている。(近所づきあいの希薄化)(岩)

課題：車での移動が多くなって立ち話が減り、世代交流がなくなった。(岩、上)

車での移動では挨拶ができない。でも田舎には車が必要。(上)

街は徒歩移動なので挨拶できると思う。(上)

課題：以前は地域での交流として野球などがあったが今はない。ゲートボール、ミニゴルフとか。

何かいいことないかいな。(上)

対策：昔の人が今の人に昔話をする。問題提起となる機会をもつ。(上)

課題：みんなで声かけ運動をしていきたい。挨拶とか。(上)

課題：小学生や中学生の通学時に大人からあいさつの声かけをしてほしい。(上)

地域の人に見守ってもらっているという子どもの安心感に繋がると思う。(上)

対策：自ら進んでおこなう。回覧や広報等で子供たちとの関わりの大切さを知らせる。(上)

課題：主婦の息抜きの場が必要ではないか。(上)

課題：主婦間の交流が昔と比べて少なくなってきた。パートの時間などが関係している。(上)

課題：生活サイクルの同じが良い。「農休日」が無くなってしまった。(上)

岩代地区は農休日がきっちり決まっていてよい。生活パターンが同じで交流もとれる。(上)

課題：それぞれの生活形態の違い(職業)で人間関係が希薄になった。(上)

対策：空き家を利用して子ども、高齢者、その他地域の人々がちょっと寄れる場所をつくる。(上)

自分の家からお菓子を持ち寄って、皆でしゃべったり、ゲートボールができる場所がある。(上)

課題：日頃から近所づきあいに心がける。(高)

課題：他人の若者に対して注意できない。(高)

課題：近所でありながら、仕事で帰宅が夜になるので、地域の人と会う機会が少ない。(高)

対策：隣近所で飲み会をやる。コミュニケーションの場をつくる。(高)

課題：近くに集まれるような場所がほしい。(高)

対策：みんなが集まれる場所があると、子供や高齢者の方との交流の場になっていいのですが。(高)

4 - 2 . 地域づくり

課題：サークル活動をしている人たちが集まれる場を増やして欲しい。(南)

対策：大きな施設だけでなく、地域の集会所なども活用する。(南)

課題：町なかのスーパーをなくさないで。近くに買い物ができる場は大切。(南)

課題：地域や生活のこと。話し合う機会が少ない。何でも便利なものに流れていきやすい。(祭りの食事や、仕出しに葬式)(南)

課題：連帯感や組織(助け合い)が必要。災害時における班分けを利用、活用していくべき。(岩)

課題：婦人会の必要性。婦人会がなくなった。団体での行動で自分勝手な人が居るため。(岩)

課題：時間のある時、気軽に立ち寄れる場所が近くにあれば、老人、子ども、近所の人と普段から交流できるのと思う。それが災害時の声かけのきっかけにもなると思う。(岩)

対策：新たに土地を購入したり新しく建たなくても、今ある公民館を改修したり高速道路の下の空き地などを利用して地域の人が気軽に利用できる場所を作れないか。(岩)

課題：日頃から地域住民の思いやりを育てるような活動をしたい。(清)

課題：地域にある集会所の有効活用。(高齢者、障がい者、児童)(上)

東本庄で5つある集会場。年3回ぐらいしか使われていない。(上)

対策：各区会場でそれぞれ何か催しものをする。何か得意な人は子どもや他の人に教える。(上)

メンコ、日曜大工、料理(みそ作り)、藁ぞうりの編み方など。(上)

課題：町有地の荒地をきれいにする。道路には花を植える。美化運動を進める。(高)

対策：地域のボランティア活動を活発にして地域を美しくする。(高)

課題：地域の中での交流が少なくなってきた。(高)

旅行なども少なくなっているし、子供やお年寄りの話し合いの場を。(高)

対策：敬老会をやめて子供も家族全員が参加できるものとする(高)

(焼肉、そうめんなど) = 他世代交流できる場をつくる(高)

課題：近所づきあいの摩擦。(高)

近所での摩擦、交流が薄れてきている。(高)

どこまで入りこんでいいのか。区長に身の上相談などが来る。(高)

たとえば車を移動して欲しいとか、酒飲んでうるさいとか、動物がうるさいとか。(高)

4 - 3 . 健康づくり

課題：人間(ドック)の範囲を広くしてほしい。脳ドックをしてほしい。(個人負担してもいい)(南)

対策：保健師に相談してくれれば、検査機関紹介します。(南)

課題：健康で長生きするにはどうすれば良いか。(岩)

課題：老後も元気であるにはどうしたらいいのか。(岩)

対策：せからしいので心と体にゆとりを持つ。(岩)

課題：息子の嫁が家事をしてくれるようになり、家ですることがなく、ぼけてしまうのではと不安。(岩)

対策：ぼけ予防案 手先を使う。ずっと現役でいること。体を動かす。(岩)

対策：生きがいや仕事があると、ボケないと思う。農家は退職もなく良い。(岩)

課題：医療の充実。医療機関を充実させてほしい。(岩)

課題：体力維持のための運動等を清川で開いてほしい。(清)

寝たきりにならないようにリハビリをしたい。(清)

対策：運動教室などを清川地区で開催し、気軽に参加できるようにする。(清)

課題：個人的なことですが、現在中国産の野菜が怖くて買えません。地域の皆さんが作った安全な食品を買う場所が欲しい。(上)

対策：地元の方の協力を得て安全な野菜を供給してもらう。地元で作った安全な野菜を売る場所があつたら良い。(上)

4 - 4 . 若者の定着

課題：若い人の就職の場が少ない。(南、岩、高)

市街地域ではサラリーマン世帯が多いため、若者が働くところがなく町外に出ていく。(南)

課題：働く場が地域から通える場所にほしい。そうすれば将来は子供も増えていく。(高)

課題：若い人が地区から出て行ってしまふ。若者が地元に戻ってきてほしい。(岩、高)

対策：農産物(梅)の価格安定 後継者が残ってくれる。(岩、高)

対策：公害のない大きな企業を誘致。(岩、高)

対策：有償ボランティアとして若者の労働力を高齢者の介護力として生かせないか。(岩)

課題：国道424号線を早く2車線にしてほしい。若い人が通勤に時間がかかるため町外に出て行く。(清)

対策：早く国道を二車線にする。(清)

4 - 5 . 経済問題

課題：梅の価格低迷。(清)

対策：選別を良くして清川の梅を清川ブランドとして売る。(清)

課題：梅の景気が悪くなって、経済的なことから、出生率が下がってきているように思う。(高)

高校、大学等に行かせるために母親も働かざるをえない。子供にかまっている時間がない。(高)

対策：保育時間などは延長されて、働くお母さんの助けになっている。(高)

4 - 6 . 結婚について

課題：結婚しない男性が多い。(清)

出会いがない?自分の意思の問題?生活スタイルの変化も関係する 少子化につながる(清)

課題：嫁さんをもらわなくて、子供が少なくなつて、段々戸数が少なくなつていくのでは?(高)

4 - 7 . 交通問題、安全対策

課題：1人乗りの電動自動車の人は駅前通りでは通行しにくそう。旧道（商店街）はなおさら通行しにくそうです。（南）

対策：道を整備してもらおう。（歩道など）（南）

課題：高齢者の運転について。車の運転危ない。免許取り上げられた。外出が制限され、生きがいが無くなる。元気なくなる。（南）

対策：警察で高齢者の安全教室を開催してくれる。（南）

課題：高齢者が電動カーで車道を走行しているのを見かけるが、歩道に行くように出来ないものか。（南）

課題：高齢者が多くなってきて道路の危険箇所に柵が必要。（南）

対策：一人暮らし高齢者が、先日、自転車で溝に落ちたので柵など要所所に付けて欲しい。（南）

課題：道路を車椅子の人や杖で安全に歩けるように。（南）

対策：グレーチングを目の細かいものに必要度に応じて変えていっています。（南）

課題：道路がせまい。特に集落の中の道がせまい。（岩）

対策：道路を整備してほしい。災害時にあぶない。最低限の整備が必要。（岩）

課題：清川は病院が遠い。夜なら病院まで45分かかる。前まで救急車が近くにあったのに。（清）

課題：救急車の体制整備。早く来るようにしてほしい。連携がうまくいってないように思う。（清）

救急車を設置できれば良いのだが、救急車が来るのがあまりに遅く、自分の車で行く人もいる。（清）

対策：ヘリポートで運ぶ（清川球場から）（清）

グラウンドがあるので、ヘリポートの許可ができればいいのだが。（清）

課題：歩道のない道路が多い。歩いているすぐ横を車が通るので危ない。歩道をつけてほしい。（上）

課題：V ショップ前の通り（424号線）を小学校1年生が1人下校していたが、そのすぐ脇を大きなトラックが通っているのを見てびっくりした。もう少しで巻き込まれそうだった。（上）

自転車で通る子供たちも多く、歩道をつけて欲しい。（道幅的に無理なのか。）（上）

課題：V ショップの前（424号線）で事故が多い。歩道がないため。（上）

対策：行政へ要望する。通学路の検討。ここは通学路とわかるような目印を立てる。（上）

課題：高城小学校近くのトンネルの道幅が狭く、通学自転車などあぶない。（高）

対策：トンネルの歩道の拡張を図る。（高）

課題：南部までは遠い。買い物が大変。(高)

課題：公共交通機関が充実していき不便。(岩)

対策：デマンドタクシーを乗合(普通)のタクシーのように運行する。料金は現行並みで。(岩)

4 - 8 . 防犯

課題：最近、泥棒が発生しており、防犯上から地域を守ることについて考える必要がある。(南)

対策：防犯灯の整備。(南)

対策：知ってる人も知らない人にも出会ったら声をかける。(南)

対策：情報の共有化(放送など)(南)

対策：高齢者は狙われやすい 家族等への連絡体制(南)

課題：最近近くの家で泥棒(の被害)があり治安が悪くなってきた。(上)

高速ができてから治安が悪くなった。(上)

空き巣が何回か入ったと聞かすが、捕まると聞いたことがない。(上)

夜中に入って危害を加えられると考えると怖い。(上)

対策：戸締りを厳重にする。地区の回覧板に情報を流す。(上)

回覧板に詳しく情報を書いてくれると気をつけることができる。(上)

課題：晩稲地区に住んでいますが、街灯が少ないので用心が悪いと思います。(上)

課題：田辺へ行く学生が多く帰りが遅くなるので、街灯を増やして欲しい。(上)

対策：地域の役員を通じて行政へ。通学路は優先してつけています。(上)

4 - 9 . 災害時の対応

課題：海の近くで土地が低いので、津波が大変心配なのですが、逃げる場所が曖昧なので心配。(南)

課題：ハザードマップの検証(どこに逃げたらいいのかわからない)(南)

課題：地震、津波への対策。津波が来たときどのように逃げるのか。避難タワーが欲しい。(南)

対策：町全体を見て、危険地域に避難タワーのようなものがいくつか出来ないか。(南)

課題：災害時に弱者をどのように助けるかを各自治区でマップを作って取り組むべき。(南、高)

課題：一人暮らし高齢者が多いため、防災面での助け合いが必要。災害や火災等。(南)

課題：地震が起こったとき、地域のネットワークがないと助けられない。(南)

課題：山内は水害が多い。町内で最も水害を受けやすい。(南)

対策：まず、自分が助かって、それから弱者を助けに行く。(南)

対策：常日頃に、お年寄りや車椅子など使っている人を把握しておく。防災訓練の充実。(南)

対策：高齢者がどこに寝ているのかを防災クラブの人たちで把握しておく。(南)

対策：防災と福祉が連携し、災害弱者の救援策を決めておく。(南)

課題：防災のとき、高齢者の居場所がわからない。防災訓練の時に、役場に高齢者の名簿を欲しいと言ってももらえない。(南)

対策：地区で名簿を作っているところもあるので、各地区で自主的に把握しておく必要がある。(南)

課題：障がい者や高齢者の人の居場所を把握しておく。(岩)

課題：災害時の一人暮らしの方への対処。(岩、清)

近所なら見にいけるが、行くまでに事故があるかもしれない。

対策：災害が起こったら消防団が確認に行く。(清)

消防団が確認することになっているが、現実的に無理があるのではないか？(清)

対策：役割を決めて災害時に対応する。(清)

対策：隣近所の助け合い、声かけ、安否確認。(清)

対策：一人暮らしの方一人ひとりに担当を数人決めておく。(高)

対策：災害時の地域全員の安否確認を誰がするか決めておく。(上、高)

対策：自主防災組織の立ち上げが必要。(高)

課題：地域で高齢者が多いので、火災や地震のときにたいへん困る。(南)

対策：3世代同居が少ない。3世代が一緒に住めば、税金を安くするなどの施策が必要。(南)

課題：津波だけではなく、洪水、土砂崩れも心配。地震、水害が同時にきたらどうするのか。現在の防災マニュアルには入っていない。(上)

課題：山崩れが心配 ポロポロ崩れてきているところがある。(清)

課題：避難所への通路の確保。各家庭から避難所に行けないと意味がない。(上、高)

課題：避難所に集まったとき、地域の人たちで無事かどうか確認できるように日頃から地域の繋がりが必要。(上)

対策：普段から近所同士で助け合って仲良くしておく。(岩)

対策：避難場所などへテレビ、ラジオ、発電機の設置の支援。(高)

課題：災害時のことで近所で集まって、話し合う機会がほとんどない。(上)

対策：緊急時の家族の連絡体制の確保。緊急時の連絡の取り合いを家族(隣近所でも)で話し合っておく。電話が繋がらないときのことなど。(上)

課題：災害時にはまず自分の身の安全を守ることが大事。(高)

課題：災害時の避難場所の確保。(岩)

課題：災害時の水の確保。(岩)

対策：井戸水を最近あまり使っていないので適度に使って災害時に使えるようにしておくべき。(岩)

課題：災害時に緊急用の連絡手段が必要。(清)

対策：電話番号171に連絡する。(清)

課題：災害伝言ダイヤル(171)の周知。(高)

緊急ダイヤル かからなかったら途切れてしまう。最後に役場などが受けてほしい。(高)

4 - 10 . 環境問題

課題：高齢者の方はごみの分別に困っている。(清)

分別がされていなかったり、収集日以外の日に出したりしていることが多くある。(清)

対策：シルバーの袋(高齢者用の袋)を作って、大きく二種類ぐらいの分別に改良できないか。(清)

課題：野焼きをする人がいて困る。(高)

対策：役場などが対応。通りがかりなら言えるが隣近所では注意しにくい。(高)

4 - 11 . 地域生活その他

課題：みなべ町で日曜日や祭日に医者に見て欲しい。(南)

対策：119番に連絡して病院を紹介してもらう。(南)

課題：店が少ない。買い物は南部へ行く。岩代内で欲しいものを揃えられない。(岩)

買い物は町と離れているので不便である。近所の人に頼む人もいる。(岩)

対策：ネットを使って宅配。TELで宅配。+ボランティアの代行を考えては。(岩)

課題：携帯電話がすべての機種で電波が届くようにしてほしい。(清)

課題：AEDの講習会の開催情報はどこかの団体に入っていないとわからない。(清)

課題：行政は何か起こったり、問題があったときだけ動く。もっと未然に防げる対応を。(清)

課題：上富田町などで実施されている映画の無料放映をしてほしい。(上)

文化芸術の充実。子供向け、高齢者向けと。(上)

対策：生涯学習センターを利用する。公民館、教育委員会に要望する。(上)

5. その他

課題：社協の会員会費集めにくい。拒否される。(福祉委員)(南)

対策：会費の徴収の時、使い道についてわかりやすい資料が必要。(南)

課題：3世代の家庭がごく少なくなってきた。(高)

課題：3世代同居への支援策があってもいいのでは。(高)

一緒に住んでいたら福祉にかかる費用も安くすむ。(高)

なぜ同居をしてくれるか。生活の費用面。子育ての相談や手助けをしてもらえる。(高)

3世帯同居が良い。3世帯が農業していたら...(上)

3世帯が同居していても家族がばらばらのこともある。(上)

地区懇談会の実施状況

平成19年10月開催 地区懇談会の各班で考えたまちづくりのタイトルと参加者数一覧

		参加者数
南部A地区 10月16日(火) (塚、埴田、 片町、新町)	1 安心、安全な地域づくり	7
	2 小さな町でもキラリと光る	7
	3 地域で共に協力しあう町づくり	6
	4 みんなで助け合い交流できる町	7
	5 交流と夢のある健康な町づくり	6
	小計	33
南部B地区 10月17日(水) (北道、南道、 千鹿浦、山内)	1 住民、区、町が一体となって住みよい町づくりを	7
	2 気軽にあいさつできる町づくり	7
	3 活気のある町づくり	7
	4 大人も子どもも進んで挨拶、声かけできるまち	7
	小計	28
南部C地区 10月22日(月) (芝、芝崎、東吉 田、気佐藤、新庄)	1 明るい未来のある町づくり	7
	2 町づくりは近所づきあいから	5
	3 声かけ、挨拶で地域を知る	9
	4 みんなで支え合い助け合う地域づくり！！	8
	5 ふれあいのまち みなべ	9
	小計	38
岩代地区 10月3日(水) (東岩代、西岩代)	1 若者が定着できるまちづくり	9
	2 高齢者、障害者が地元ですっと暮らせる町づくり	8
	3 子どもを育てやすいまち	9
	4 住民が気軽に利用できる場所づくり	8
	小計	34
上南部A地区 10月15日(月) (谷口、筋、徳蔵、 熊岡)	1 安心して住めるまち	8
	2 鬼のいない町づくり	8
	3 いきいきと元気な町 みなべ町	8
	小計	24
上南部B地区 10月23日(火) (晩稲、東本庄、 西本庄)	1 みんなが声掛け出来る町づくり	6
	2 誰もが安心！笑顔あふれるまちづくり！！	7
	3 キラッと声かけ！みんな住みたいみなべ町	7
	4 基本は“家庭”から	4
	5 子どもにも高齢者にも声かけをくりかえす	7
	小計	31
高城地区 10月10日(水) (高城全地区)	1 高齢者、障害者に優しい高城のまち	9
	2 安心して暮らせるまちづくり	8
	3 声かけ、触れ合いの輪を広げよう	8
	4 (魅力)ぬくもりのある若者の定着できるまちづくり	8
	5 気軽なあいさつで心通うまちづくり	8
	小計	41
清川地区 10月11日(木) (清川全地区)	1 一生住みなれた清川で暮らせるように	8
	2 清川ヨッシャー	9
	3 若者が定着できる職場と住みよい環境づくり	8
	4 10年後の清川を考えて	8
	小計	33
合計		262

3. みなべ町地域福祉に関するアンケート調査票

～地域福祉に関するアンケート調査ご協力をお願い～

町民の皆さんには、日頃から町政に関してご理解とご協力をいただき、心から深く感謝申し上げます。

今、みなべ町では「みなべ町地域福祉計画」の策定に取り組んでいます。

この計画は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる仕組みを、地域における支え合い、助け合いによりつくりあげていこうとする計画です。

この調査は、地域福祉計画に向けた取り組みの一つとして実施するもので、アンケートを通じて「地域福祉」に関する皆さんのお考えやご意見をお寄せいただき、「地域福祉計画」策定にあたっての貴重な資料とさせていただきます。

今回の調査は、自治会（区長さん）や民生委員さんはじめ普段から福祉のまちづくりにお世話頂いている方々をお願いしております。

また一般町民の500人の方々にもお願いしております。

調査は無記名であり、ご記入いただいた内容については、統計的に集約し、個人の名前を出したり、調査の目的以外に使用することは一切ありません。

大変お忙しいところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

平成18年11月

みなべ町

（ご記入、ご返送のお願い）

ご回答は、あて名のご本人が記入してください。

ご回答は、あてはまる番号を で囲んでください。「その他」にあてはまる場合には、（ ）内に具体的な内容をご記入ください。

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、11月30日（木）までにご返送ください。

この調査についてのお問い合わせは次のところまでお願いいたします。

みなべ町役場 健康福祉課

電話 0739-74-3337

FAX 74-8013

みなべ町地域福祉に関するアンケート調査票

【問1】 あなたの性別は。(どちらかに)

- 1 男 2 女

【問2】 あなたの年齢は、満何歳ですか。(平成18年11月1日現在)(は1つだけ)

- | | | | |
|---|--------|---|--------|
| 1 | 20～29歳 | 4 | 50～59歳 |
| 2 | 30～39歳 | 5 | 60～69歳 |
| 3 | 40～49歳 | 6 | 70歳以上 |

【問3】 あなたのご職業は。2つ以上のご職業をお持ちの場合は、収入が多い職業をお答えください。(は1つだけ。)

- 1 農林水産業の自営、家族従業者
- 2 商工、サービス業の自営、家族従業者
- 3 会社員、公務員、団体職員
- 4 専門職・自由業(医師、弁護士、大学教授など)
- 5 パート、アルバイトなど
- 6 学生
- 7 専業主婦(主夫)
- 8 無職
- 9 その他(具体的に)

【問4】 あなたと一緒に住んでいる家族の構成はどれですか。世帯の中で、最も若い世代の夫婦を基に選んでください。(は1つだけ)

- | | |
|----------|--------------|
| 1 ひとり暮らし | 4 夫婦と子と親 |
| 2 夫婦のみ | 5 夫婦と親 |
| 3 夫婦と子 | 6 その他(具体的に) |

【問5】 お住まいのところは次のうちどれですか。(は1つだけ)

- | | |
|---------|--------|
| 1 南部地区 | 4 高城地区 |
| 2 岩代地区 | 5 清川地区 |
| 3 上南部地区 | |

【問6】 みなべ町(旧南部町、旧南部川村を含めて)に、何年住んでいますか。

(は1つだけ)

- | | | | |
|---|----------|---|----------|
| 1 | 5年未満 | 4 | 20～30年未満 |
| 2 | 5～10年未満 | 5 | 30年以上 |
| 3 | 10～20年未満 | | |

【問7】あなたのお住まいの形態は次のうちどれですか。（ は1つだけ）

- | | |
|-------------------------|-------------|
| 1 持ち家（一戸建て） | 4 公営住宅 |
| 2 民営の賃貸住宅（一戸建て） | 5 社宅 |
| 3 民営の賃貸住宅（マンションなどの集合住宅） | 6 その他（具体的に） |

【問8】あなたが思っている「地域」の範囲をお答えください。（ は1つだけ）

- | | |
|---------------|-------------|
| 1 となり、近所という範囲 | 5 町という範囲 |
| 2 区という範囲 | 6 隣接の市町村の範囲 |
| 3 小学校区という範囲 | 7 その他（具体的に） |
| 4 中学校区という範囲 | |

【問9】ふだん近所の人と、どの程度のつきあいをしていますか。（ は1つだけ）

- 1 困っているとき（病気、悩み、事故など）に相談したり、助け合ったりする
- 2 一緒にお茶を飲んだり、留守をするときに声をかけあう程度
- 3 世間話や立ち話をする程度
- 4 会えばあいさつをかわす程度
- 5 ほとんどつきあっていない
- 6 その他（具体的に）

【問10】現在のご近所とのつきあいに満足していますか。（ は1つだけ）

- | | |
|------------|--------------|
| 1 満足している | 3 あまり満足していない |
| 2 ほぼ満足している | 4 不満である |

【問11】近所づきあいについて、あなたのお考えにもっとも近い考え方を選んでください。（ は1つだけ）

- 1 プライバシーに立ち入ることがあっても親しい付き合いが必要
- 2 何か困ったことがあれば相談したり助け合う程度がよい
- 3 プライバシーを干渉しない程度がよい
- 4 あいさつ程度で十分
- 5 わずらわしく、できるだけしたくない
- 6 その他（具体的に）

【問12】あなたは、毎日の暮らしの中で、どのような悩みや不安を感じていますか。3つまで選んでください。

- | | |
|----------------------------|-------------|
| 1 自分の健康 | 6 経済的なこと |
| 2 家族の健康 | 7 近所との関係 |
| 3 育児の問題 | 8 その他（具体的に） |
| 4 介護の問題 | 9 特になし |
| 5 自分や家族の生活（進学、就職、結婚など）上の問題 | |

【問13】 悩みや不安について誰に相談したいと思いますか。3つまで選んでください。

- | | |
|-------------|------------------------|
| 1 家族・親戚 | 10 地域包括支援センター（介護等の相談所） |
| 2 知人・友人 | 11 ホームヘルパー・ケアマネジャー |
| 3 近所の人 | 12 医師・保健師・看護師など |
| 4 職場の人 | 13 弁護士・司法書士 |
| 5 役場の職員 | 14 民間の電話相談 |
| 6 社会福祉協議会 | 15 インターネットの相談サイト |
| 7 民生委員・児童委員 | 16 その他（具体的に） |
| 8 民間福祉団体 | 17 相談できる人がいない |
| 9 ボランティア | |

【問14】 あなたが高齢や病気や事故などで、日常生活が不自由になったとき、ご近所でどのようなことをしてほしいですか。3つまで選んでください。

- 1 安否確認の声かけ
- 2 ちょっとした買い物やゴミ出し
- 3 食事を作ったり、掃除や洗濯の手伝い
- 4 通院の送迎や外出の手助け
- 5 子どもの預かり
- 6 話し相手や相談相手
- 7 具合が良くない時に、病院や役場・社協に連絡してもらう
- 8 その他（具体的に）
- 9 特にない

【問15】 あなたのご近所で、高齢者や障がい者、子育てなどで困っている世帯があったら、どんな対応をしますか。（は1つだけ）

- 1 できる限りのお手伝いをしたい
- 2 多少のお手伝いはできる
- 3 お節介と思われたくないのでためらってしまう
- 4 福祉サービスを利用すればよく、特に自分が手伝う必要はない
- 5 その家庭の問題であるから、家族や親戚で解決すればいい
- 6 よくわからない
- 7 その他（具体的に）

【問16】 あなたの住んでいる地域で、奉仕活動を求められたら、あなたはどの程度、協力しようと思いますか。（は1つだけ）

- 1 月に2～3日以上
- 2 月に1日程度
- 3 2ヶ月に1日程度
- 4 半年に1日程度
- 5 年間に1日程度
- 6 提供したくない

【問17】あなたは、ボランティア活動の経験がありますか。(どちらかに)

1. ある
2. ない

〔問17で「1. ある」と答えた方にお聞きします。〕

【問18-1】どのような活動をしましたか(していますか)。

(はあてはまるものすべて)

1. 給食ボランティア
2. 朗読ボランティア(広報等を録音テープへ吹き込む)
3. 読み聞かせボランティア(子どもに絵本を読み聞かせる)
4. 清掃美化ボランティア
5. 手話通訳ボランティア
6. 子育てボランティア
7. 募金活動への参加
8. 高齢者や障がい者等が外出するときの送迎
9. 障がい者の付き添い等ボランティア
10. 福祉イベント等のスタッフボランティア
11. 地域の清掃・美化に関する活動
12. 消防・防災・防犯・災害支援に関する活動
13. 自然環境保護・リサイクルに関する活動
14. 趣味や生涯学習、スポーツ指導に関する活動
15. 青少年育成・支援に関する活動
16. その他(

〔問17で「2. ない」と答えた方にお聞きします。〕

【問18-2】その主な理由を1つだけお選びください。

1. 仕事や家事で忙しいから
2. 身体が弱い、病気がち
3. 病人や高齢者など家族の世話をしているから
4. どこで活動しているかわからないから
5. 一緒に活動してくれる人がいないから
6. してみたいが、どうすれば良いのかわからない
7. 自分の趣味や余暇活動を優先したいから
8. 興味や関心がない
9. その他(

【問19】あなたは、今後どのようなボランティア活動ができますか（やりたいですか）。

（ はあてはまるものすべて）

- 1．給食ボランティア
- 2．朗読ボランティア（広報等を録音テープへ吹き込む）
- 3．読み聞かせボランティア（子どもに絵本を読み聞かせる）
- 4．清掃美化ボランティア
- 5．手話通訳ボランティア
- 6．子育てボランティア
- 7．募金活動への参加
- 8．高齢者や障がい者等が外出するときの送迎
- 9．障がい者の付き添い等ボランティア
- 10．福祉イベント等のスタッフボランティア
- 11．地域の清掃・美化に関する活動
- 12．消防・防災・防犯・災害支援に関する活動
- 13．自然環境保護・リサイクルに関する活動
- 14．趣味や生涯学習、スポーツ指導に関する活動
- 15．青少年育成・支援に関する活動
- 16．高齢者や障がい者などを対象とした地域のサロンの活動ボランティア
- 17．観光案内ボランティア
- 18．点訳ボランティア
- 19．話し相手ボランティア
- 20．その他（
- 21．特にない

【問20】次のうち、地域の人たちが協力して、取り組んでいくことが特に必要な問題は、どのようなことだと思いますか。2つまで選んでください。

- 1．一人暮らし高齢者や高齢者世帯への支援
- 2．障がい者への支援
- 3．子育てで悩んでいる家庭への支援
- 4．健康づくりでの支援
- 5．青少年の健全育成への支援
- 6．災害時の助け合い
- 7．その他（具体的に）
- 8．特にない

【問21】あなたは、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度を知っていますか。（1つだけ選んでください。） 認知症や知的障がい等で判断能力が十分でない方に代わり福祉サービスの利用手続きや生活費、財産の管理等を行う制度です。

- 1．よく知っている
- 2．少し知っている
- 3．制度があることは知っているが、内容は知らない
- 4．全く知らない

【問22】 民生委員・児童委員は、社会奉仕の精神をもって、誰もが安心して暮らすことのできる地域社会づくりをめざして、様々な活動を行っています。民生委員・児童委員が行う活動として、ご存知の内容を選んでください。（ はあてはまるものすべて）

- 1 日常生活の悩みや心配ごとの相談
- 2 福祉に関する情報の提供
- 3 高齢者や障がいのある人への訪問
- 4 高齢者の実態調査
- 5 虐待児童の早期発見
- 6 官公庁等の依頼による事実確認
- 7 いずれも知らない

【問23】 あなたは地区の民生委員・児童委員をご存知ですか。（どちらかに ）

- 1 知っている
- 2 知らない

【問24】 みなべ町には地域福祉を推進し、社会福祉への住民参加を促し、支援する社会福祉協議会があります。あなたは、この組織をご存知ですか。（ は1つだけ）

- 1 名前も活動の内容もよく知っている
- 2 名前は聞いたことがあるが、活動の内容はよく知らない
- 3 名前も活動の内容も知らない

【問25】 社会福祉協議会が行う活動・支援として、今後、充実してほしいものを3つまでを選んでください。

- 1 ボランティア活動への参加促進と支援
- 2 住民による身近な支え合い活動への支援
- 3 誰もが安心して在宅で生活するための福祉サービス
- 4 身近なところで福祉の相談ができる窓口
- 5 児童・生徒・地域住民を対象とした福祉教育の推進
- 6 福祉に関する情報発信（インターネット等を含む）
- 7 子育てに関する支援
- 8 高齢者や障がい者など援助を必要とする方々やそれらの団体への支援

【問26】 福祉サービスを充実させていくうえで、あなたのお考えに最も近いものを選んでください。（ は1つだけ）

- 1 福祉を実施する責任は行政にあるので、住民は特に協力することはない。
- 2 福祉課題については、行政も住民も協力し合い、ともに取り組むべきである。
- 3 まず家庭や地域で助け合い、できない場合に行政が援助すべきである。
- 4 その他（具体的に ）
- 5 わからない。

【問27】あなたは町の福祉に関する情報を、どのようにして入手したいですか。3つまで選んでください。

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1 家族から | 7 広報紙や町の発行するパンフレットから |
| 2 友人・知人から | 8 町のホームページから |
| 3 近所の人から | 9 直接役場に相談する |
| 4 地域の民生委員・児童委員から | 10 その他（具体的に） |
| 5 社会福祉協議会から | 11 わからない |
| 6 地域包括支援センターから | |

【問28】今後、みなべ町が取り組むべき福祉施策として、どのようなことが大事だと思いますか。3つまで選んでください。

- 1 福祉サービスの情報提供をさかんにする
- 2 福祉について気軽に相談できる窓口の充実
- 3 福祉の専門職や住民リーダーの育成
- 4 ボランティア活動を募集したり、ボランティア団体の育成
- 5 近所の人困っている人を見守り、支えあうこと
- 6 建物、道路などの改善（バリアフリー化）
- 7 ホームヘルプサービスなどの在宅サービスの充実
- 8 高齢者、障がい者が昼も夜も気軽に利用できる小さな福祉施設の整備
- 9 老人ホームや、障がい者が入所する大きな福祉施設の整備
- 10 子育て支援の充実
- 11 学校等での福祉教育の推進
- 12 高齢者や障がい者が働ける職場づくり、職業の紹介、世話
- 13 その他（具体的に）

地域福祉（まちづくり）について、ご意見・ご提言などをご自由に記入してください。

ご協力いただき、ありがとうございました。この調査票は、同封の返信用封筒に入れて（切手不要）11月30日（木）までにご返送ください。

4. みなべ町地域福祉計画に関するアンケート調査集計結果

地域福祉計画を策定するにあたり、住民の方々に地域福祉に関するアンケート調査を実施しました。その集計結果は以下のとおりです。

1. 実施期間 平成18年11月1日から11月30日

2. アンケート対象者及び回収数

配付数：一般住民500人（無作為抽出） 回収数228 回収率 45.60%

福祉関係者313人 回収数219 回収率 69.97%

福祉関係者313人の内訳： 民生児童委員 45人

社協理事・評議員 51人

社協福祉委員 122人

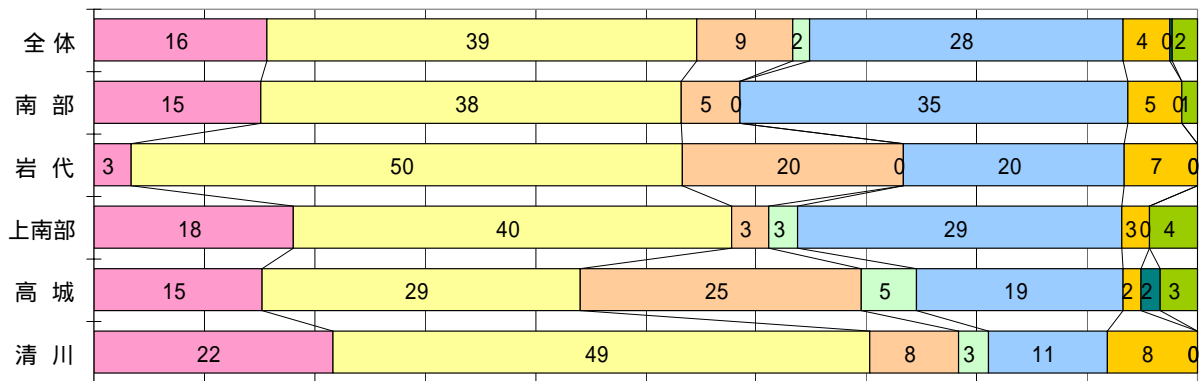
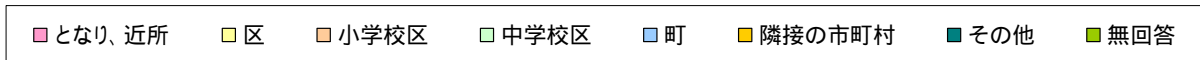
母子保健推進委員 27人

区長・副区長 68人

3. 各質問別集計結果（グラフ） 別紙のとおり

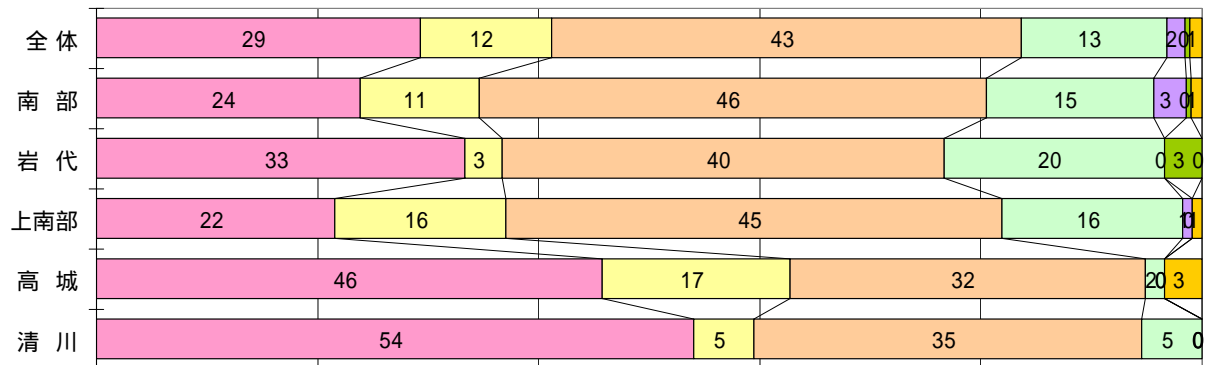
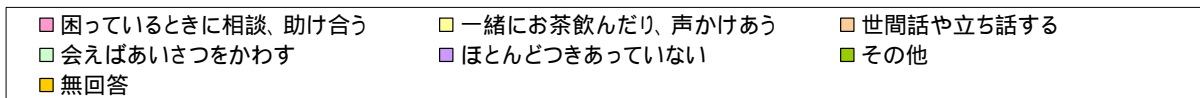
あなたが思っている地域とは

全体を通じて地域の範囲は区とと思っている人が多い。特に岩代、清川が半数を占めている。
 南部地区は町を地域ととらえている割合が5地区で一番高い。南部地区は市街地区域であり、小さい面積の中にいくつかの区があるため、市街地区域全体を一つの地域とと思っている方が多いと思われる。(グラフ内の数値は%です。)



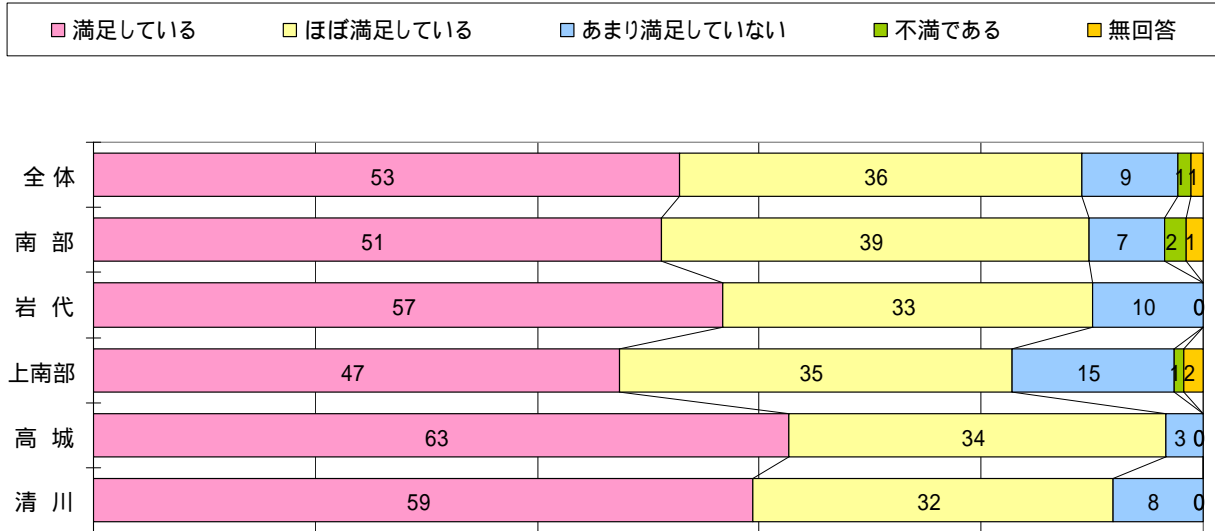
近所の人との付き合いの程度は

「困っているときに相談、助け合う」と答えた割合は高城、清川地区が高く、近所との付き合いが濃密であると言える。岩代地区がそれに続いている。



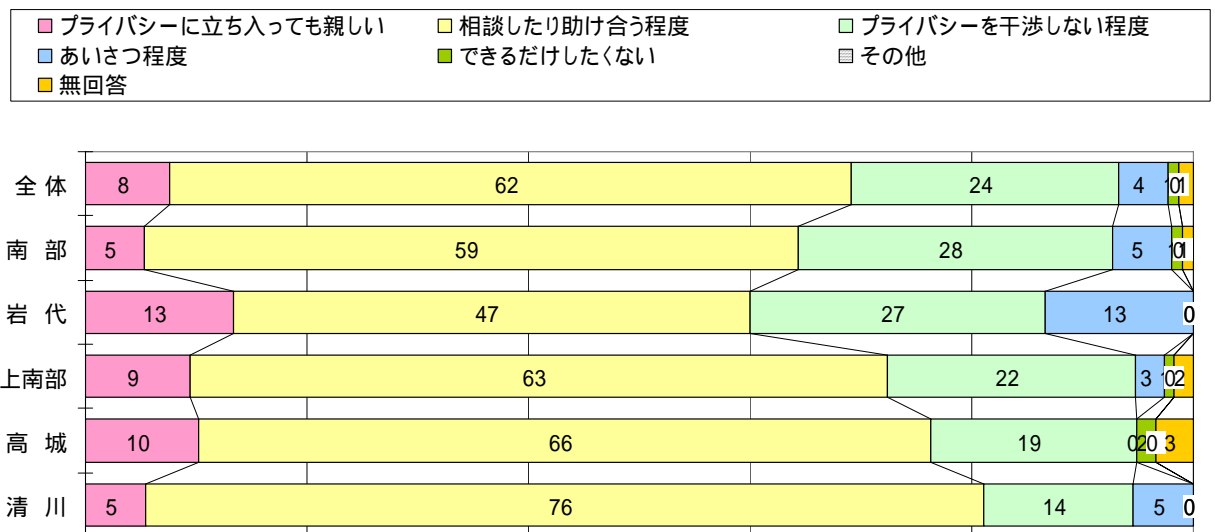
現在の近所付き合いに満足していますか。

全体を通じて満足度は高いといえる。



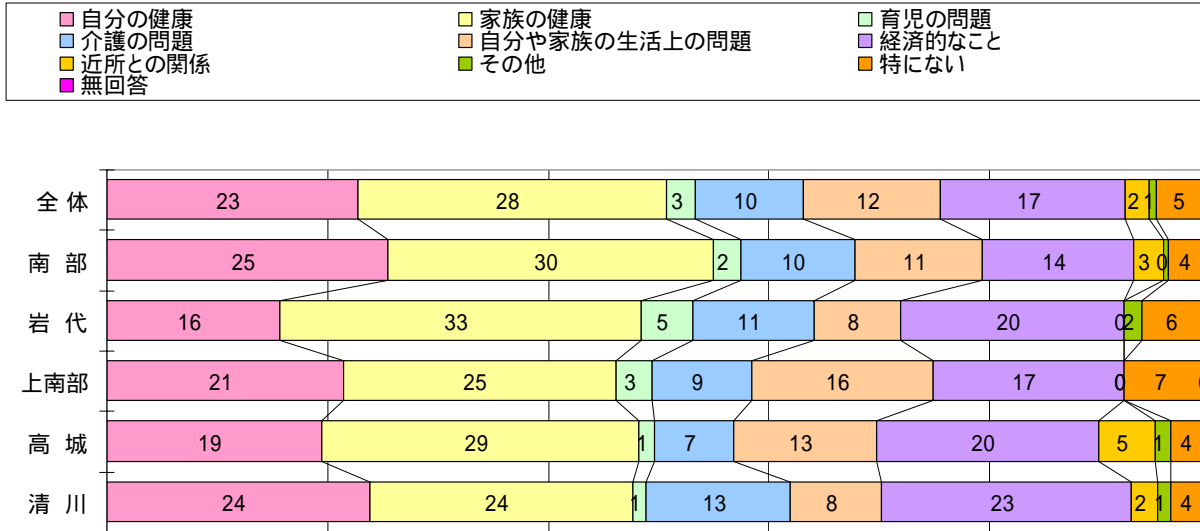
近所付き合いについて

全体的に「何か困ったことがあれば相談したり助け合う程度がいい」と答えた人が一番多い。



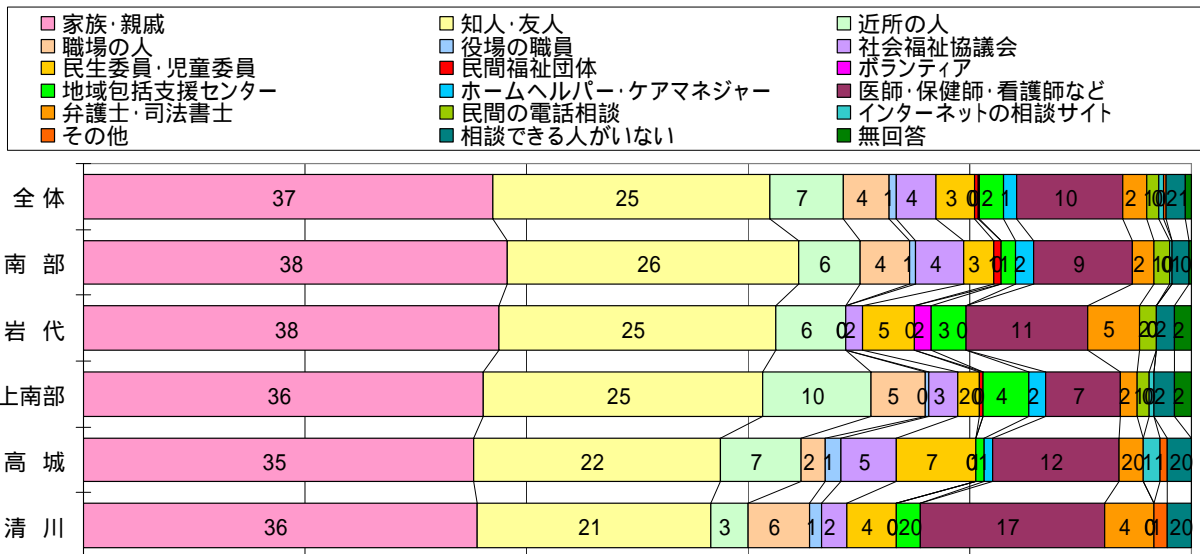
どのような悩みや不安を感じていますか

全体的に「家族の健康」「自分の健康」次に「経済的なこと」と答えた人が多い。



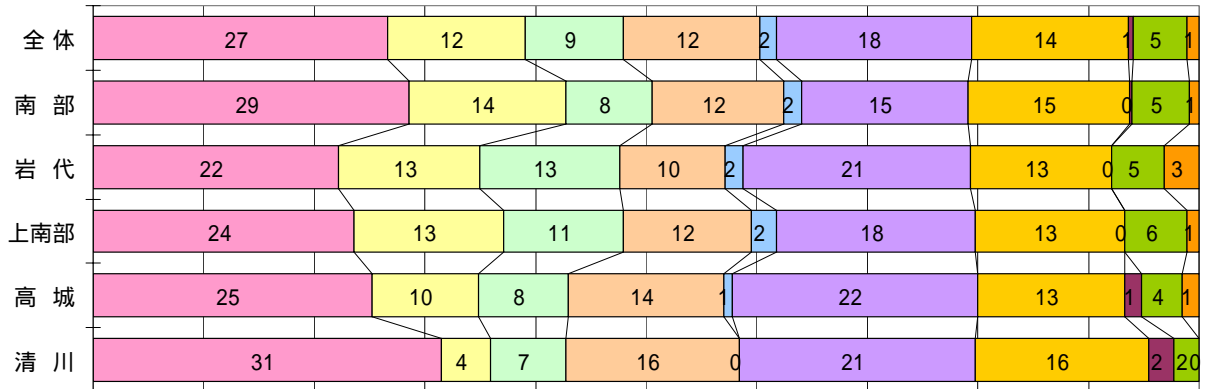
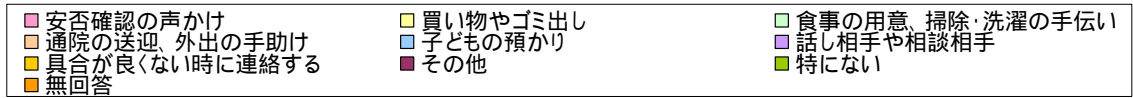
悩みや不安について誰に相談したいですか。

全体を通じて、家族・親戚に相談する人が一番多く、次いで知人・友人、その次に医師・保健師・看護師となっている。



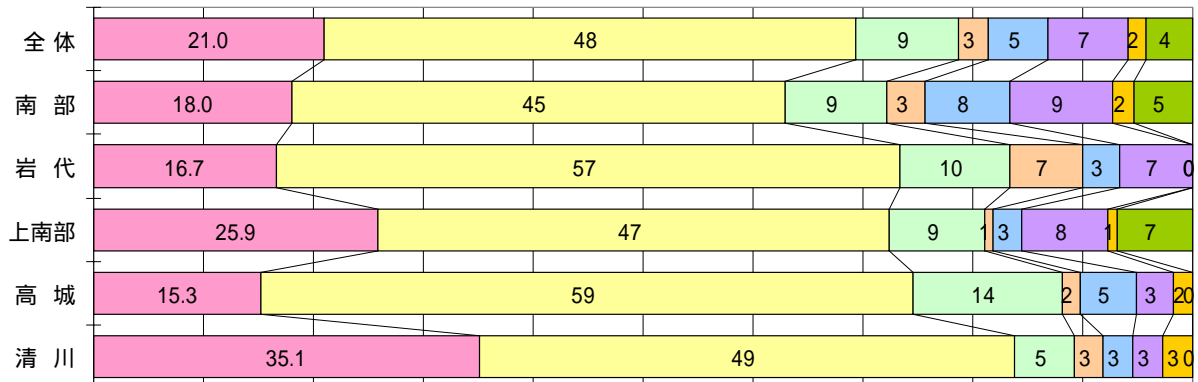
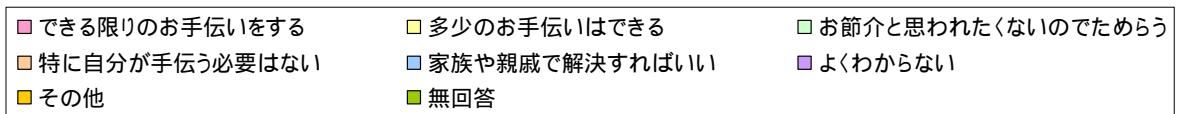
日常生活が不自由になったとき、ご近所でどんなことをしてほしいですか。

全体を通じて一番は「安否確認の声かけ」、二番目は「話し相手や相談相手」となっている。



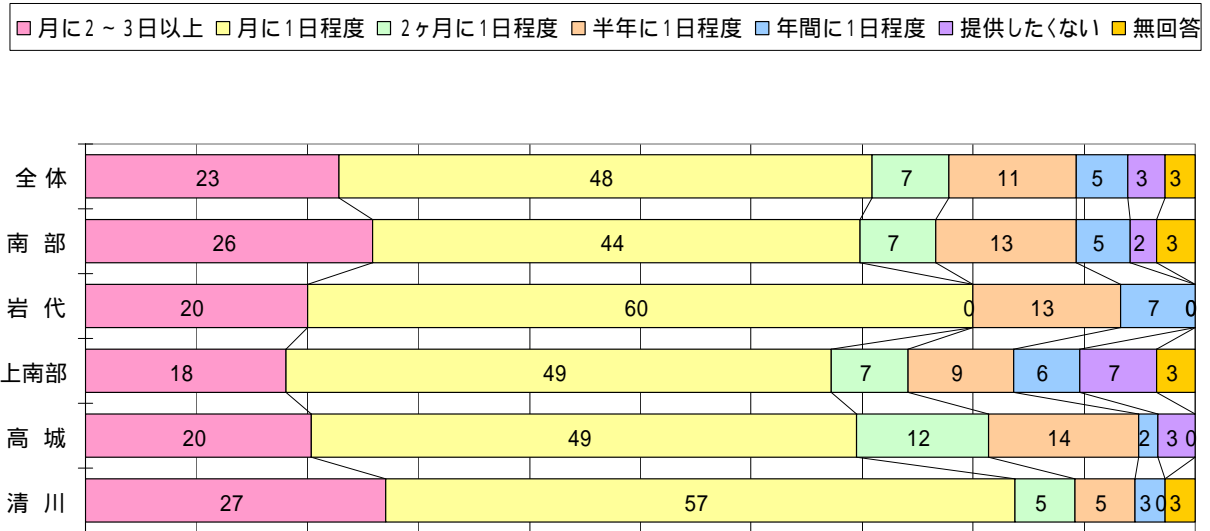
近所で困っていることがあったらどうしますか。

全体的に「多少のお手伝いはできる」と答えた方が半数を占める。「できる限りのお手伝いをする」と答えた方は清川地区が一番多い。



奉仕活動はどの程度できますか。

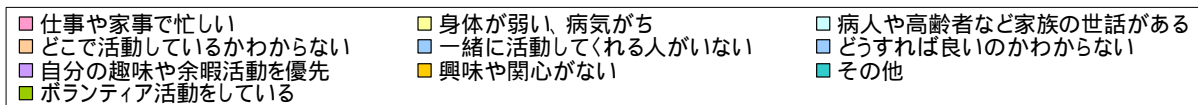
各地区とも「月に1日程度」が一番多く次いで「月に2～3日以上」となっている。



ボランティア活動について（ボランティアをしていない理由）

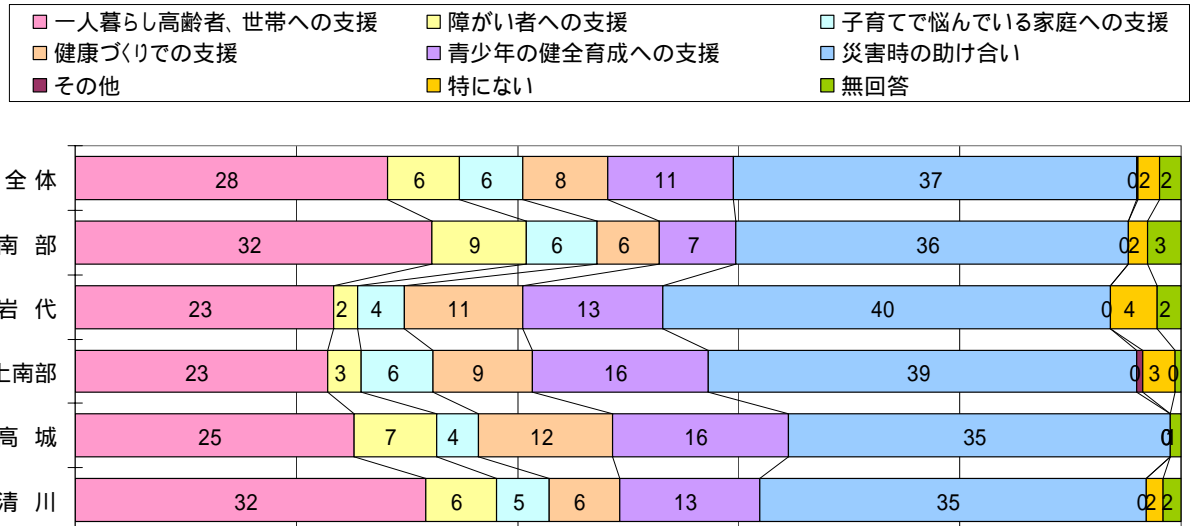
ボランティアをしていない理由で「仕事や家事で忙しい」が一番多い。岩代地区は「どこで活動しているかわからない」「一緒に活動してくれる人がいない」も多い。

ボランティア活動をしている割合は清川地区が一番高い。



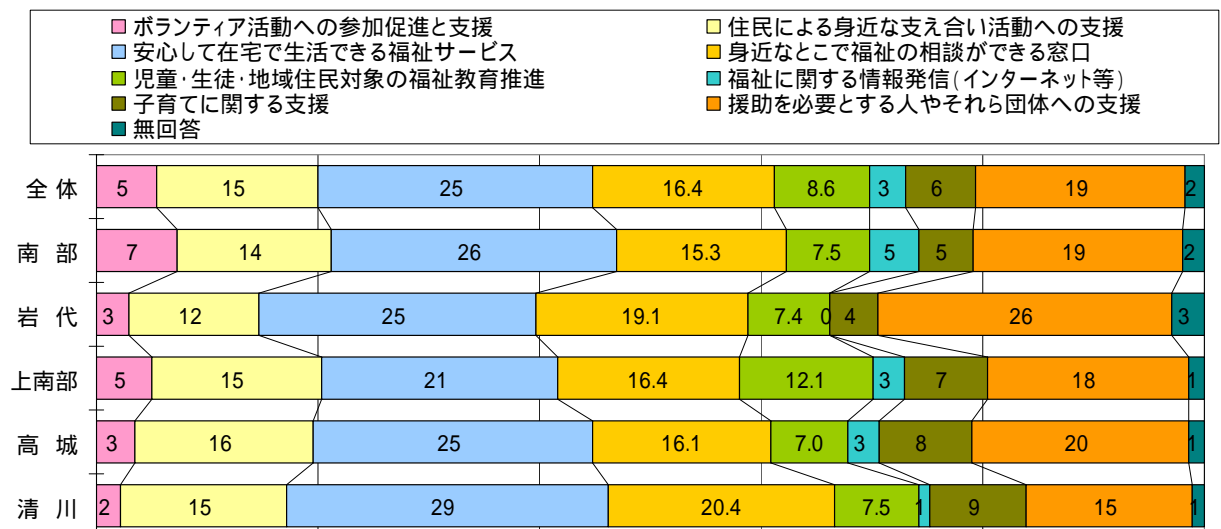
地域で取り組む課題は

各地区とも「災害時の助け合い」が一番多く、次いで「一人暮らし高齢者への支援」となっている。



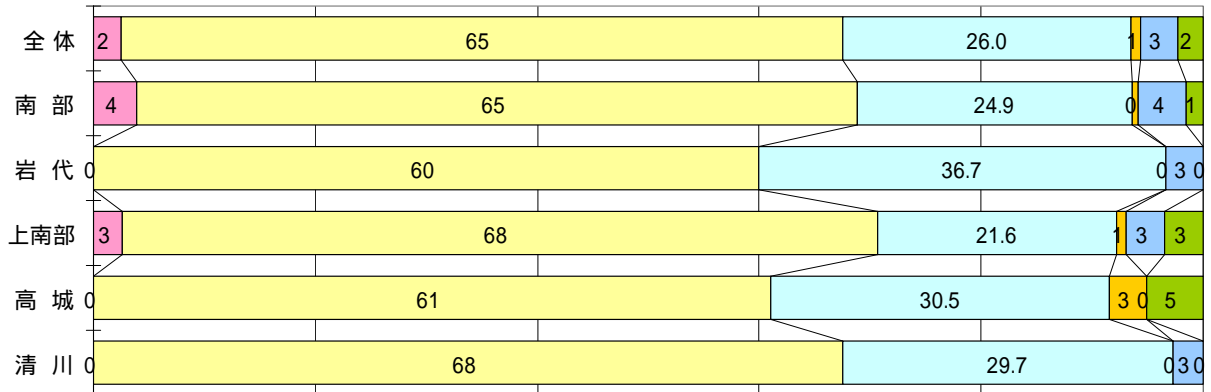
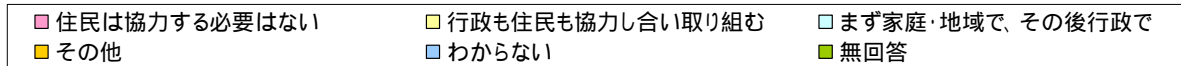
社協で今後充実してほしいものは

各地区とも「安心して在宅で生活できる福祉サービス」「援助を必要とする人や団体への支援」「身近な相談窓口」「住民による支え合い活動への支援」が多い。



福祉サービスを充実していく上であなたの考え方は

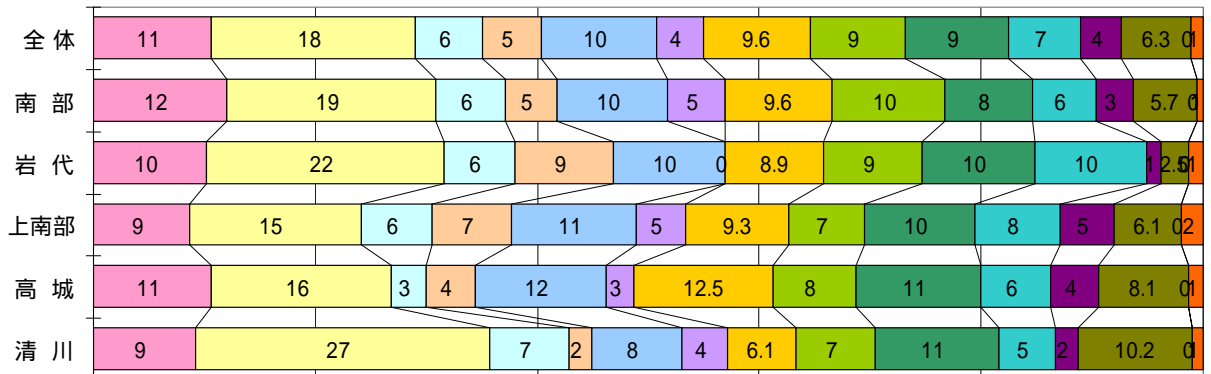
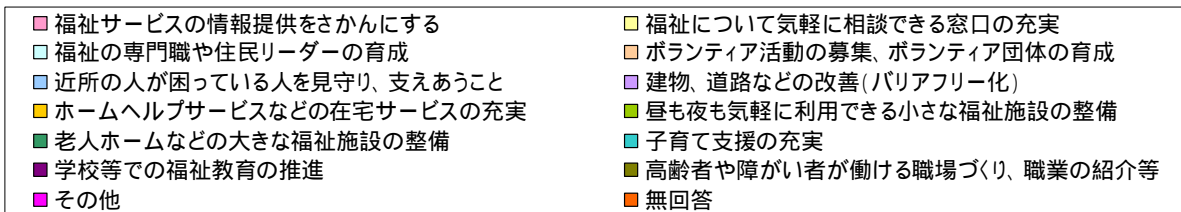
各地区とも「行政も住民も協力して取り組む」が一番多い。次いで「まず家庭・地域で、その後行政で」となっている。



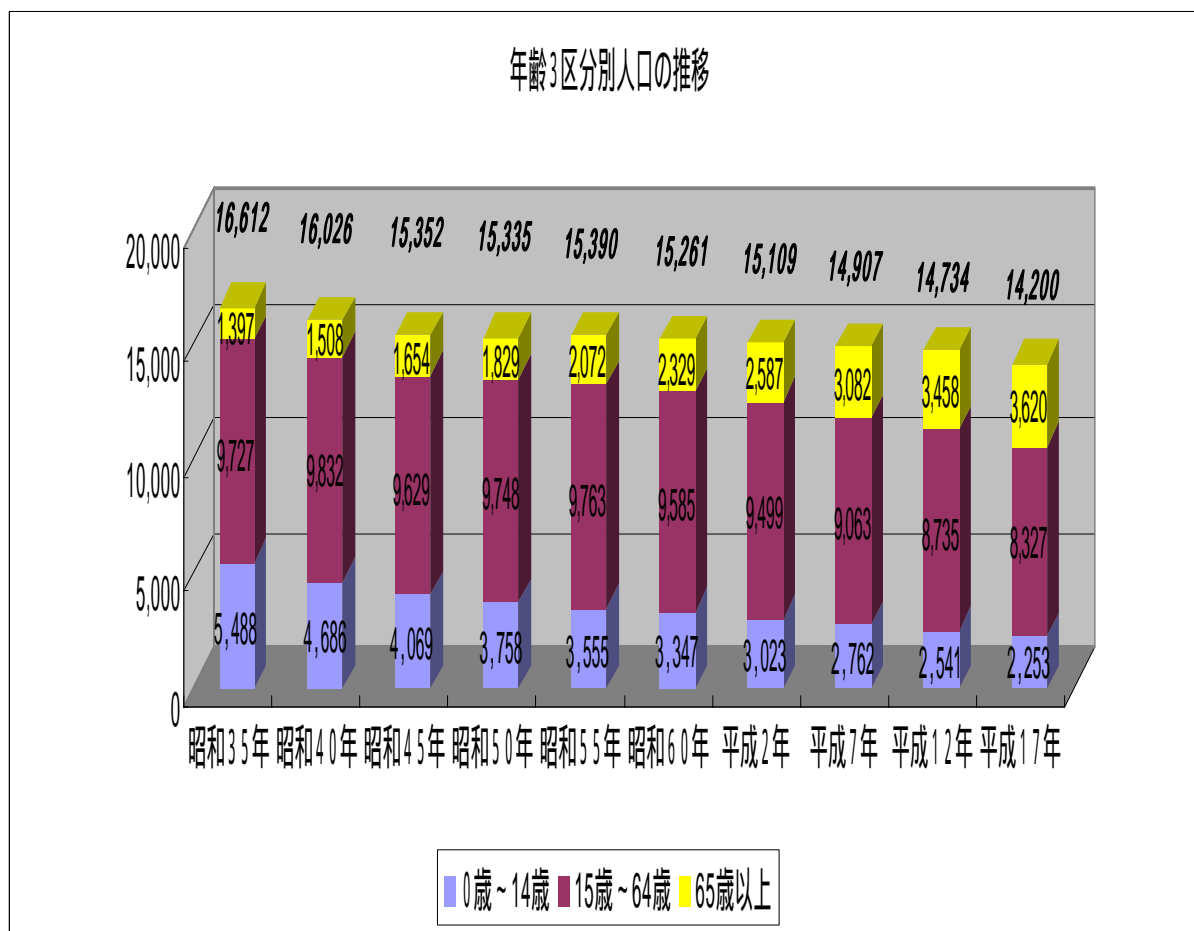
町が今後取り組むべき施策は

他種にわたるが、「各地区とも福祉の相談窓口」が一番多い。清川地区が特に多い。次いで町全体で10%を超えているのは「福祉サービスの情報提供をさかんにする」「近所の見守り、支え合い」となっている。

福祉施設の整備は「大きな施設」「小さな施設」を合わせると17.9%となる。

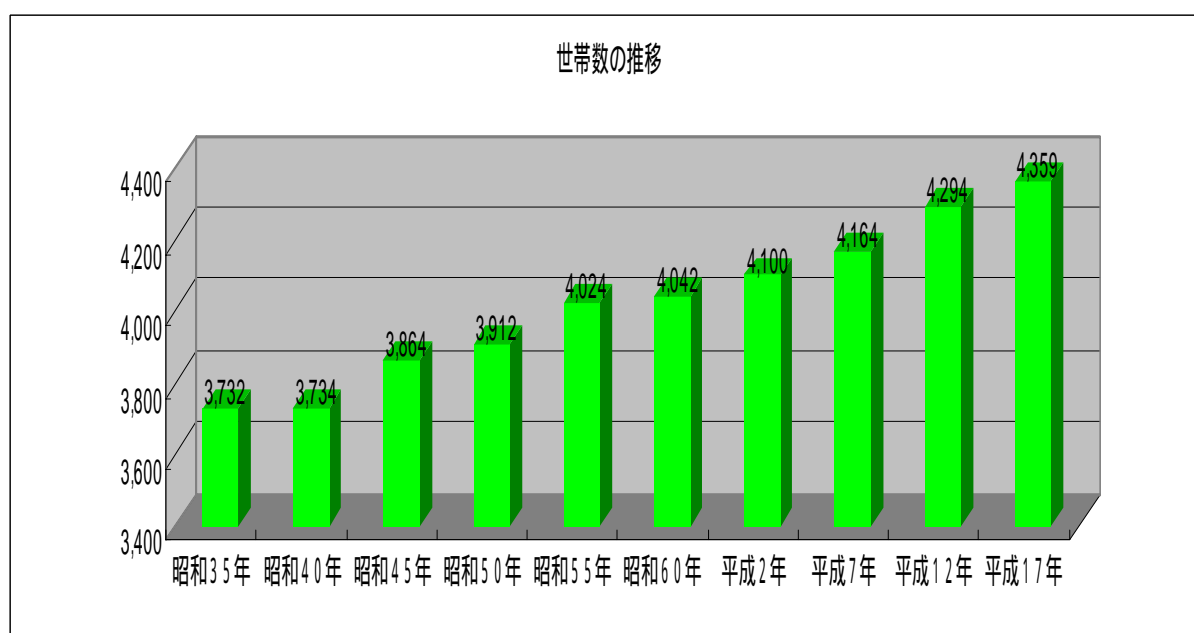


5. みなべ町における人口等基礎数値の推移



0歳～14歳までの子どもと、15歳～64歳までの稼働年齢層の人口が減少し、65歳以上の人口が増えています。

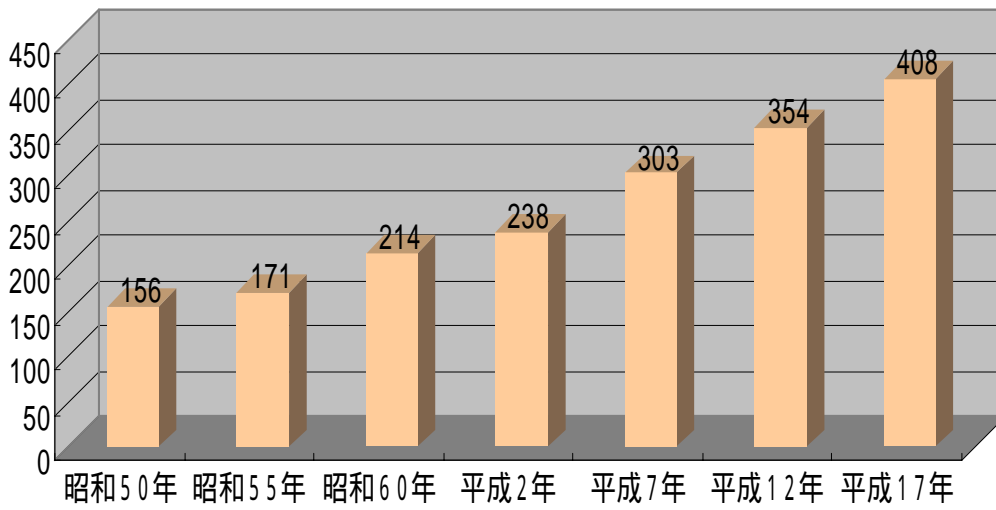
資料：国勢調査



町全体の世帯数は核家族化の進行等により、年々増加しています。

資料：国勢調査

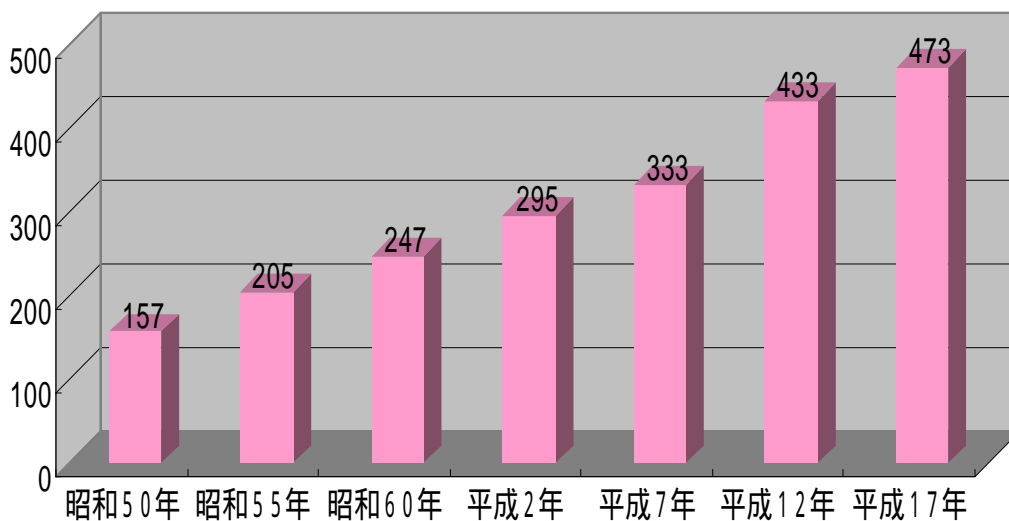
一人暮らし高齢者の推移



資料：国勢調査

一人暮らし高齢者は少子化と核家族化、若者の転出等により年々増加しています。

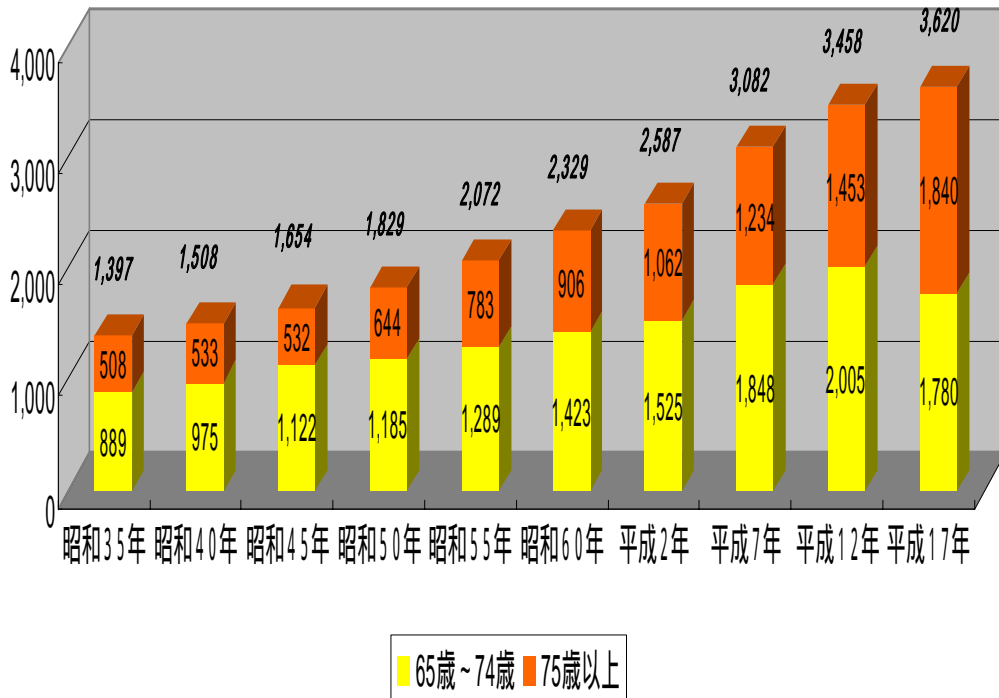
高齢者夫婦世帯数の推移



資料：国勢調査

高齢者夫婦世帯は少子化と核家族化、若者の転出等により年々増加しています。

高齢者人口の推移

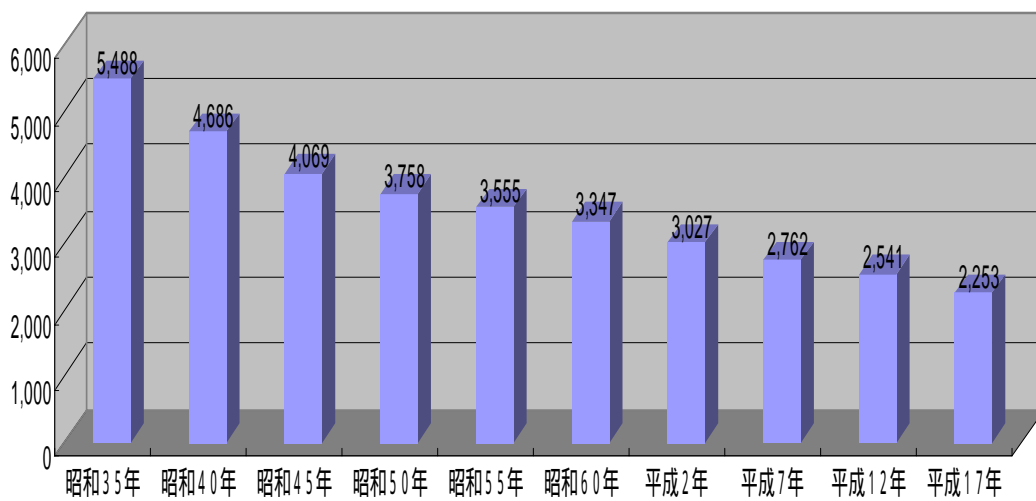


資料：国勢調査

65歳以上人口は平均寿命の伸び等により年々増加しています。

12年度から17年度にかけては65歳から74歳までの前期高齢者人口は減少していますが、75歳以上の後期高齢者人口は急激に伸びています。

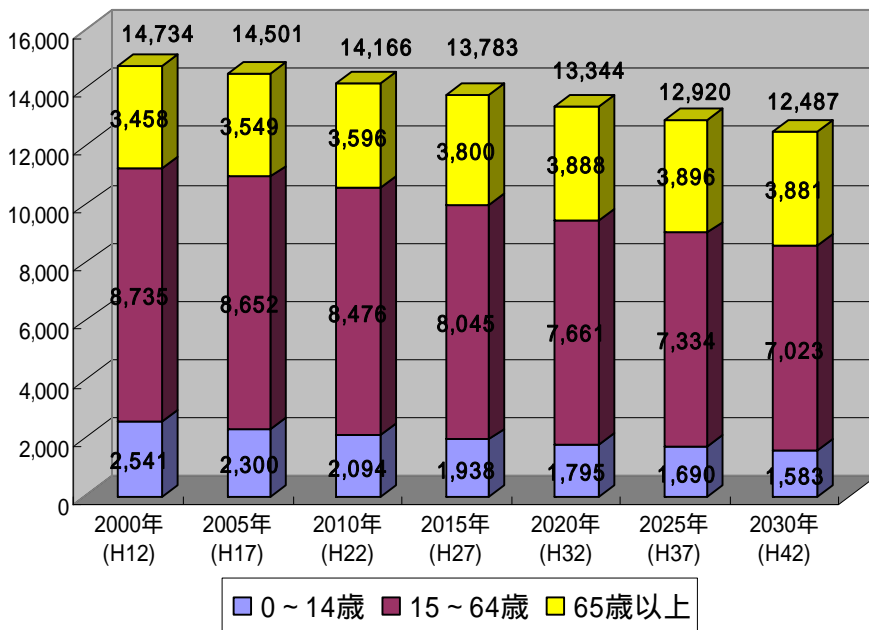
0歳～14歳人口の推移



資料：国勢調査

0歳から14歳までの子ども人口は少子化により年々減少してきています。

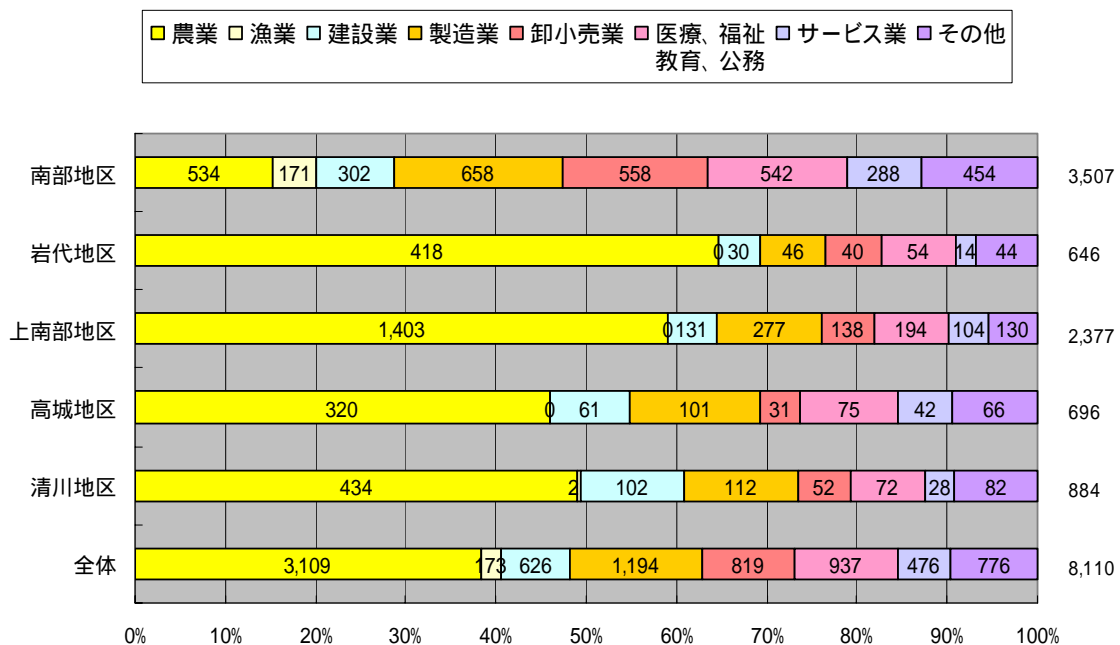
年齢三区分別人口の推計



資料: 国立社会保障・人口問題研究所

国立社会保障・人口問題研究所の人口推計では、65歳以上人口は平成32年度までは増加し、その後は横ばいとなっている。15歳～64歳人口、0歳～14歳人口は今後もずっと減少となっている。

産業別就職者数



資料: 平成17年度国勢調査

南部地区は人口密集地区で卸小売業のほか、製造業、サラリーマンなど、業種は多種にわたっている。岩代地区、上南部地区は農業従事者が約6割を占め、高城、清川地区は農業従事者が約5割となっている。

6. みなべ町における地域福祉ニーズの把握

和歌山大学システム工学部（足立啓、三木かほり） みなべ町役場保健福祉課

1 和歌山県みなべ町の概要

みなべ町は和歌山県のほぼ中央に位置し、都市部と山間部に大別される。総人口は減少傾向にあり、2007年8月における総数は14,705人、その内65歳以上の高齢者数は3,739人、高齢化率は25.4%である。



図1 みなべ町の和歌山県内位置

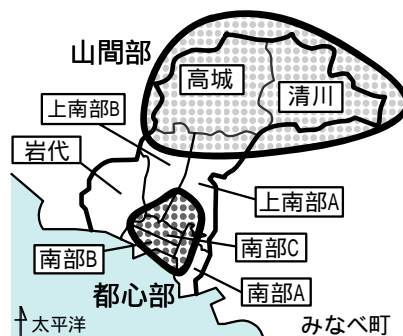


図2 地区懇談会 8区画境界図

2 統計情報による地域福祉ニーズの把握

高齢者

高齢化率は山間部である高城、清川で高い。
要介護(要支援)高齢者の人口比率は、3~4%程度で地区間に大きな差はない。
要介護3以上の高齢者に限定すると、清川が最も多く、重度化が進んでいる。

障がい者

身体障がい者の人口比率は地区別で大きく差はなく、等級4以上の重度身体障がい者の割合は、清川で最も高く50%である。

子ども

育児に手がかかる0~12歳(小学校卒業相当の年齢まで)の人口比率では、都市部の上南部がやや高い(13.4%)が、他地区は12%前後で大きな差はない。

表1 統計情報一覧

人数, ()内は%		地区人口	高齢者				障がい者		子ども
			65~74歳	75歳以上	要介護(要支援)高齢者		身体障がい者手帳保有者		0~12歳
					要介護3~5	要介護3~5	等級4~6		
都市部	南部	7051	835 (11.8%)	930 (13.2%)	287 (4.1%)	98 (34.1%)	328 (4.7%)	131 (39.9%)	881 (12.5%)
	岩代	1105	121 (11.0%)	136 (12.3%)	39 (3.5%)	13 (33.3%)	46 (4.1%)	16 (34.8%)	131 (11.9%)
	上南部	4233	498 (11.8%)	513 (12.1%)	134 (3.2%)	43 (32.1%)	148 (3.9%)	59 (39.9%)	567 (13.4%)
山間部	高城	1408	191 (13.6%)	278 (19.7%)	53 (3.8%)	18 (34.0%)	51 (3.6%)	19 (37.3%)	170 (8.5%)
	清川	908	103 (11.3%)	134 (14.8%)	34 (3.7%)	14 (41.2%)	44 (4.8%)	22 (50.0%)	120 (13.2%)
合計		14705	1748 (11.9%)	1991 (13.5%)	547 (3.7%)	186 (34.0%)	617 (4.2%)	247 (40.0%)	1870 (12.7%)

3 地区懇談会の意見集約による地域福祉ニーズの把握

3-1 地区懇談会概要

地域福祉計画の基礎となる地域住民の福祉ニーズ抽出のため、2007年10月にみなべ町内5地区を8区画(図2)とし、各1回ずつ、地域住民参加による地区懇談会を開催した。

人口の比較的多い都市部の「南部」は3区画、「上南部」は2区画に分けて開催し、それぞれを平均して意見を集計した。

各区画で8人程度のグループワークを行い、意見を記入した付箋と議事録をもとに分析した。

3-2 地区懇談会の全体傾向分析

地区別の意見全体を9つのカテゴリにまとめた。(表2)

表2 地区懇談会でのカテゴリ別意見と意見数

		地区					5地区合計
		南部	岩代	上南部	高城	清川	
意見 の カテ ゴリ	子ども	26	8	25.5	11	19	89.5 (12.5%)
	若者	21.7	18	18	39	9	105.7 (14.8%)
	高齢者	48	38	35.5	59	44	224.5 (31.4%)
	障がい者	13.3	3	9.5	13	4	42.8 (6.0%)
	地域交流	25.3	7	14	22	4	72.3 (10.1%)
	福祉情報	4.7	4	1	1	4	14.7 (2.1%)
	災害対策	14.7	6	4.5	22	12	59.2 (8.3%)
	交通	8.7	14	7.5	10	20	60.2 (8.4%)
	他	9.3	7	5	10	15	46.3 (6.5%)
	合計	171.7	105	120.5	187	131	715.2

全地区で「高齢者」に関する意見が最も多く、次に「子ども」や「若者」などに関して子育てや若い世代の地区離れに関する不安の意見が多い。

また、地域福祉の課題として「地域交流」や「災害対策」など多様なニーズが抽出された。

次頁では、全体傾向とは別に高齢者の介護や障がい者の支援、子育てなどの福祉ニーズに注目した独自のカテゴリとして「高齢者」「障がい者」「子ども」を設定し、分析する。

3-3 意見集約と地区別傾向

高齢者の福祉ニーズ(表 3)

高齢者の福祉ニーズを把握するため、高齢者の介護や支援に関する項目を抽出した。
意見数の合計は高城が最も多く、次に清川といずれも山間部が多い。
特に1人暮らし高齢者への支援、外出支援に関する意見山間部のほうが多い。
また、施設整備に関する意見では岩代が最も多い。

		南部	岩代	上南部	高城	清川	5地区 合計
高齢者	介護問題	5.3	9	4.5	12	9	39.8
	一人暮らし高齢者	13	7	8	21	11	60.0
	施設整備	6	14	4.5	2	9	35.5
	外出支援	2.3		2	7	4	15.3
災害	一人暮らし高齢者対策	3	1	1	12	10	27.0
合計		30	31	20	54	43	177.7

障がい者の福祉ニーズ(表 4)

障がい者の福祉ニーズを把握するため、障がい者の支援に関する項目を抽出した。
意見数の合計は、高城で最も多く、次に南部が多い。
多くのカテゴリで意見が出たのは南部と上南部である。
両地区は他地区に比べ都市部であり多様な意見が出たと考えられる。

		南部	岩代	上南部	高城	清川	5地区 合計
障がい者	障がい者への理解	1.7		3			4.7
	障がい者の情報	1	1	0.5			2.5
	障がい者との交流	2.3					2.3
	地域で支える	0.7		0.5	9		10.2
	障がい者の働く場	1.3	2	1.5	3		7.8
	外出支援	3		2			5.0
	施設整備	1		0.5	1	4	6.5
合計		11.0	3	8	13	4	39.0

子どもの福祉ニーズ(表 5)

子どもの福祉ニーズを把握するため、子育てに関する項目を抽出した。
意見数の合計は、上南部、南部、岩代と都市部に多く、高城、清川の山間部は少ない。
山間部の少子高齢化を反映したと考えられる。

		南部	岩代	上南部	高城	清川	5地区 合計
子ども	子育て 費用負担	0.6	1	3	3	1	8.6
	子育て支援	4.3	4	3	3		14.3
	交流の場	3.7	3	3			9.7
合計		8.6	8	9.0	6	1	32.6

4 まとめと今後の課題

4-1 地域福祉ニーズのまとめ

地区懇談会の意見から抽出した高齢者、障がい者、子どもに関する地域福祉ニーズを各地区別で比較しまとめた。

(図3)

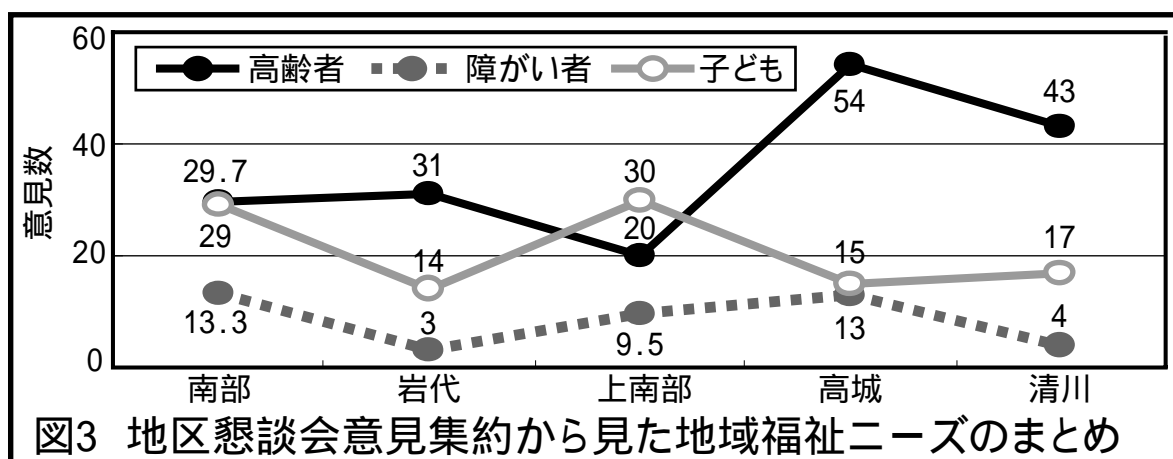


図3 地区懇談会意見集約から見た地域福祉ニーズのまとめ

人口 1.45 万人の地方の町であってもニーズの分布傾向は、都市部(南部、上南部)と山間部(高城、清川)に大きくわかれ、多様であることが示された。都市部は、高齢者、障がい者、子どものいずれの福祉ニーズも高いため、バランスの良いサービスを提供する必要がある。

山間部は特に高齢者の福祉ニーズが極めて高いため、他地区に比べて高齢者支援を強化しつつ障がい者、子どもの福祉ニーズと統合するのが望ましい。

4-2 福祉ニーズの充足性と小規模多機能共生型施設の可能性

地域福祉ニーズは、地理的特性や各地区の高齢者、障がい者、子どもに関する福祉ニーズによって異なり、画一的な支援は望ましくない。また、小中学校区程度の圏域では、要介護高齢者、障がい者、子どものいずれも個別に施設が必要とされるほど福祉ニーズは多くはない。そこで、小地域における多様化するニーズに対応するためには、従来の個別縦割りではなく、横断的に多機能・複合的な福祉サービスが必要とされる。

しかしながら、福祉サービスの提供拠点として財政負担を伴う新規施設の建設は容易でなく、現在の状況では、空き家や集会場といった地域の既存資源を有効に活用することが求められている。

従って、これらのニーズを統合化し、高齢者に特化せず、地区それぞれの福祉ニーズに対応した地域密着型のいわゆる「小規模多機能共生型施設」という新たな施設形態が望まれる。

4-3 今後の課題

本稿では、みなべ町の地区別の福祉ニーズを把握した。

今後は、地区別の多様な地域福祉ニーズに耐えうる地区毎の空き家や集会所などの地域資源を活用した小規模多機能共生型施設の整備案を提案する予定である。

[謝辞]

本研究は、和歌山大学と和歌山県みなべ町との共同研究である。

みなべ町役場職員の皆様、地区懇談会に参加頂いたみなべ町住民の皆様深く感謝の意を表します。

みなべ町地域福祉計画

別冊資料集

発行：みなべ町

編集：みなべ町保健福祉課

住所：みなべ町芝 7 4 2

T E L 0739 - 72 - 2544

発行年月：平成 20 年 3 月